

豫算委員長決算委員長懲罰委員長及理事左ノ通常選セラレタリ

豫算委員長

江原素六君

理事

改野耕三君

理事

大野龜三郎君

理事

北田豊三郎君

決算委員長

田村順之助君

理事

西川守吉郎君

外交ニ關スル質問

野澤武之助君

理事

横山通英君

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治三十一年五月二十一日 提出者 大東義徹

島田三郎 神鞭知常

尾崎行雄 岩野廣中

安部井磐根

山田喜之助

島田卯吉

工藤行幹

外九十七人

贊成者

尾崎行雄

河野廣中

安部井磐根

居リマスルガ、併ナガラ是マデ政府が取りマスル所ノ政治上ノ有様ニ就イテ之ヲ考ヘテ見マスルト、外交上ニ關シマシテハ、絶對的ニ祕密ト云フコトヲ守ラントスル所ノ有様デゴザイマス、殆ド日本臣民ハ勿論、吾々議會ニ於キマシテモ、外交上ノ事柄ニ就イテハ、敢テ喙ヲ容レシメヌト申シマスルヤウナ有様デゴザイマス、吾々ハ斯ル重大ナル事件ニ遭遇致シ、又東洋ノ位地重キ地位ニゴザイマスル以上ハ、此事ニ就キマシテハ、諸君ト共ニ十分研究ヲ致シ、又當局者ニ向クテ大ニ求メナケレバナラヌ所ノ件モ數アルコトニアラウト考ヘマス、併シ私共ガ外交上ノ質問ヲ致シマスル上ニ就イテ、或ハ此質問ハ、何カ政府ノ外交ノ祕密ヲ暴露致シ、以テ一快ヲ貪ラント致スヤウナ考デナイト云フコトヲ、諸君ハ御承知下サラネバナラヌ、又吾々外交上ノ質問ヲ致シマスルタメニ、當局者ヲシテ外交ノ手腕ヲ掣肘セシメヤウト云フヤウナ事柄ハ、決シテ吾々ノ希望シナイ點デゴザイマス、又吾々外交上ノ點ニ就キマシテ、之ヲ黨派上ノ爭問題ト致シ、黨略ノ一材料ニ供シテ、以テ快ト既往ノ成行キト云フコトヲ聞キ、而カ致シマシテ、政府ノ外交上ノ說ト吾々スル所ノ野心モ決シテナインデゴザイマス、宜シク政府ガ是マデ取來ツタ所ノ點ニ就キ又將來政府ガ外交上取ルベキ所ノ途ニ就キマシテ、警戒ヲ試ミ、又吾々後援ト爲シテ東洋ノ平和ヲ維持セシメヤウト云フ微衷ニ過ギナイ次第デゴザイマス、デ、先づ私ガ第一ニ質問ヲ致シマスル點ハ、獨逸國ノ膠州灣借入、又露西亞ノ旅順口大連灣借入ニ就キマシテ、我政府ハ如何ナル外交上ノ勵ヲ爲シタデアルカ、又露西亞獨逸政府ト如何ナル交渉往復ヲ致シタモノデアルカ、又露西亞獨逸ヲ別ニ致シテ、他ノ諸國ト何カノ話合カ、談判等ヲ試タコトガアルデアラウカ、ドウカト云フ點ニ就イテ、質問ヲ致スノデアリマス、何ガ故ニ斯ノ如キ質問ヲ致シマスカト申シマスト、獨逸ノ膠州灣占領ト云フモノハ、何ニ依ツテ原因シタカト云フ事柄ヲ考ヘテ見マスルト、諸君ガ御承知ニナクテゴザイマス、一體損害ノ賠償、人命ノ損害ニ關シ、又財產上ヲセラレマシテ、又教會堂ヲ破壊セラレタト云フタメニ、是ニ向クテ賠償ヲ得ント云フタメニ、俄ニ膠州灣占領ト云フ所ノ實ニ悲ムベキ事件ト云フモノヲ惹起シタノデゴザイマス、斯ウ云フ事柄ヲ考ヘテ見マスルニ、先づ償金ヲ請求スルトカ、損害ヲ受ケタル所ノ教會堂ニ向クテ再建ヲ求ムルトカ、或ハ建築ノ入費ヲ請求スルデアルトカ、斯ウ云フ事柄ヲ賠償ノ手段ト致シ、賠償ノ方法トシマシテ、何デアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルニ、先づ償金ヲ請求スルトカ、損害最モ適實ナ事柄デゴザイマシテ、必ズ正ニ斯ノ如キ處置ニ出デベキト云フ事

柄ガ當然デゴザイマス、然ルニ何ゾヤ、清國ノ一大要地膠州灣ヲ占領シテ、サウシテ此賠償ノ請求ヲ致スト云フノハ、實ニ甚ダ請求ノ筋道ト云フモノガ達ツタモノデアルト云フコトヲ私共考ヘマス、デ、斯ノ如キ筋違ノ事柄ヲ致シ、致シテ居ルト雖モ、清國ノ弱、清國ノ微弱ナル、到底之ヲ防ギ切ルコトが出來ナカッタノデアリマス、併シ如何ニ微弱ナル清國ト申シマシテモ、先ヅ斯ノ如キ清國ノ一要地ヲ占領セラル、ト云フコトニ就キマシテハ、隨分清國自ラニ於キマシテモ堪ヘ得ナイト云フ事柄ヲ認メタデアラウト考ヘマス、其所以ハ、膠州灣ノ占領ノ事實ガアリマシタノハ、十一月ノ十四日ニ始リマシテ、而シテ膠州灣借入ノ約定ナ云フモノヲ締結致シマシタノガ何時デアルカト申シマスルト、本年ノ一月十一日ト云フコトニナツテ居リマス、斯ノ如ク十一、十二、一月ト三月ニ跨リマシテ、談判ガ捲ミシクナカッタト云フ事柄ハ、實ニ清國ガ斯ル無法ナル要求ニ對シテハ、容易ニ之ヲ承諾シナカッタト云フ事實ハ、明瞭デゴザイマス、又此獨逸ガ膠洲灣ノ占領ヲ致シマスルト云フコトニ就イテ、何カ歐洲強國間ニ於テ強國ノ同盟約束ナドガアッタデアルカドウカト云フ事柄ヲ、私共段々探究ヲ致シテ見マスルト、恐ラク獨逸ト露西亞ノ二箇國間ニ於テハ、少クトモ膠州灣占領ニ就イテ、互ノ意思ト云フモノガ、投合シテ居ツタト云フ所ノ事實ハ、認メ得ラレルノデアルカドウカト云六月ノ頃デゴザイシタラウカト信ジマスルガ、獨逸ノ皇帝ガ露西亞ノ朝ニ參リマシテ、露西亞皇帝ト會見ヲ致シマシタ、其當時ニ於テ、少クトモ膠州灣占領ノ事柄ヲ持出シテ居ツタト云フコトハ、幾ラカ確メ得ラレル所ノ事實ガアルノデゴザイマス、其獨逸ト露西亞ノ二皇帝ノ會見ト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ如ク、頗ル當時ノ新聞紙上ニ於キマシテハ、極テ冷淡ナル會見デアツタ、其獨逸皇帝ノ退キ歸リ續キマシテ、佛蘭西ノ大統領ボーグ露西亞ニ參リマシテ、如何ニ歡迎サレタカ、如何ニ國民ニ萬歲ヲ唱ヘラレマシタカト云フコトニ就キマシテ考ヘテ見マスルト、實ニ獨逸皇帝ハ憐ムベキ待遇ヲ受ケタト云フコトヲ申シテ居リマシタガ、併シ此間ニ於テ意外ニモスル約束ガ成立ツテ居ツタカドウカト云フ事柄ヲ今日カラ見マスルト、隨分恐ロシイ所ノ次第デゴザイマス、斯ノ如ク露西亞獨逸ノ獨逸皇帝ハ憐ムベキ待遇ヲ受ケタト云フ事柄ヲ申シテ居リマシタガ、併シ此間ニ於テ膠州灣ノ占領ニ、互ノ意思ガ相合ツテ居ツタト云フ事柄ガ事實デゴザイマスルト致シマシテハ、英吉利ニ於テハ如何デアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、英國ニ於キマシテハ、全クスル事實ガ無ガツタト云フ事柄ヲ今日カラ承知シ得ラル、コトデゴザイマス、英吉利ハ獨逸ノ膠州灣占領ニ就キマシテハ、大ニ反對ノ意見ヲ現シマシテ、此膠州灣ノ占領ニ就イテ、獨逸國ハ如何ニ此占領シタル所ノ膠州灣ヲ致スデアルカ、開港場ニ致シテ東洋ノ通商貿易ヲ熾ナラシムルト云フ方法ニ出ヅルナラバ宣シイケレドモ、サナ

クバ、吾々ハ之ニ決シテ承諾ヲ與ヘヌノデアルト云フ、斯ノ如キ通知ヲ致シタト云フコトハ、其當時ノ新聞紙其外ニ依ケテ御承知ノコトデゴザイマス、斯ノ如ク英吉利ハ少クトモ膠州灣ノ占領ニ就イテ、反対ヲ致シタト云フ所ノ事實ガゴザイマス、又曩ニ述べマスル如ク、支那政府ニ於キマシテモ、容易ニスル要求ニ就イテ承諾ヲ表サナカツタト云フコトモ明テゴザイマス、又其話ト云フモノガ繼續スルコト三箇月ニ跨ゲテ居ルト云フ事柄デアツテ、シテ見マスレバ、我政府ニ於キマシテハ、斯ノ如キ長キ時日ノ間ニ、又一方ニ於テハ英國ガ占領ニ就イテ反対ノ意思ヲ表シ、一方ニハ清國ガ容易ニ此要求ニ應シナイト云フ所ノ此場合ニ於キマシテ、我政府ガ如何ナル所ノ外交上ノ行動ヲ爲シタデアルカ、如何ニ外交ノ手腕ヲ此間に振ツタカト云フコトハ、私共將ニ當局政府ニ向シテ聞カント欲スル所ノ點デゴザリマス、テ次ニ露西亞——デハナイ、獨逸政府カラ致シマシテ、如何ニ膠州灣ノ占領ニ就イテ、我政府ニ向シテ通牒ヲ致シタカ、或ハ膠州灣ノ借入ガ締結サレマシタ上ニ於テ、何等ノ通知ヲ爲シタデゴザイマセウカ、若シ通知ヲ致シタデゴザイマスルナラバ、其通知ノ趣意モ承リタインデアル、又其通知ニ就イテハ、我政府ハ如何ナルニ回答ヲ加ヘタカ、又如何ナル方法ヲ外交上ノ手段トシテ採ツタカト云フコトモ、亦私共ガ開カント欲スル所ノ次第デゴザイマス、曩ニ申シマスル如クニ、獨逸ハ英吉利ニ對シテ膠州灣ノ開港ヲ約シテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、此開港ト云フ事柄ハ、今日マデ如何ナル有様ニナツテ居ルカ、既ニ開港ノ通知デモゴザイマシタデアラウカ、政府ニ於テハ如何ナルカ、此點ニ就イテモ私共ガ開カント欲スル所ノ點デゴザイマス、先づ獨逸ノ膠州灣借入ニ就キマシテハ、唯今申シマスルヤウナ次第デゴザイマスルガ、是ヨリ一步ヲ轉ジマシテ、露西亞ノ旅順大連灣借入ニ就イテ、政府ハ如何ナル事柄ヲ致シタカト云フ事柄ガ聞キタイデゴザイマスルガ、露西亞ハ果シテ旅順大連灣借入ニ就キマシテハ、何事モ斯ル口實ヲ設ケル所ノ筋合ガ私共無カツタデアラウト考ヘテ見マスルト、曩ニ獨國ハ少クトモ宣教師殺害ト云フ所ノ賠償ノ名義ト致シマシテ膠州灣占領ヲ致シタト云フ所ノ次第デゴザイマスルガ、露西亞ニ於キマシテハ、何事モ斯ル口實ヲ設ケル所ノ筋合ガ私共無カツタデアラウト信ズル、實ニ突然トシテ右二要地ノ借入ヲ請求致スコトニナツタデアラウト信ズル、併ナガラ既往ノ露西亞ノ行爲ニ就イテ吾々ガ考ヘテ見マスルト、露西亞ガ旅順大連灣ヲ望ムト云フ事柄ハ、決シテ一朝一夕ノ事柄デハゴザイマセズ致シテ、既ニ數年以來カラ致シマシテ、此目的ト云フモノハ、確ニ露西亞ノ外交家ノ頭ノ中ニ於テ描カレテアツタ次第デアル、最モ此事實ヲ確メマスルノハ、彼ノ一十八年ノ馬關條約デゴザイマシテ、其平和條約ニ於テ引續キ三國ノ干渉ヲ致シ、極力抗議ヲ試タト云フ事柄ハ、即チ他日旅順大連灣ニ於

テ何カノ仕事ヲセントスル所ノ準備ガ、此時既ニ有ツタト云フ事柄ハ、明テアラウト思フ、引續キマシテ遼東ノ還付ノアリマシタ其後、直チニ世ノ中ニ現ハレタノハ露清祕密條約ト云フ所ノ事柄、其祕密條約ニ就キマシテハ、色々支那ノ新聞又其外ノ新聞ニ於テ種々ナル事柄モゴザイマシタガ、其當時當事者ハ果シテ斯ル祕密條約ガ成立シタカドウカト云フコトヲ確メ得ズ、唯一ノ想像ニ過ギナカツタ次第デゴザイマシタガ、今日ヨリ見レバ確カニ其祕密條約ハ何時ノ時カ明ナラザルト雖モ、業ニ已ニ成立シタト云フコトハ、今日ヨリ確ニ認メ得ラル、所ノ事柄デアラウト考ヘル、又彼ノかゝる條約ノ如キ、今日ニ於テ考ヘテ見マスルト、其當時ニ於テハ如何ナルカト云フ事柄ヲ誰モ知ラナカツタガ少クトモのよツ條約ノ中ニ於テハ、露清兩國ノ間ニ於テ決シテ何カノ話ハ、確ニ成立シタト云フコトモ又認メ得ラル、ノナル、其外二十八年ノ冬ニ於テ、露西亞ガ冬季間船舶ノ碇泊ト致シマシテ膠州灣ヲ一時借入ヲ致シマスル如キ、又昨年ノ冬十二月ニ於キマシテ、露西亞ガ旅順港ニ於キマシテ、冬季間軍艦ノ定繫場ノタメニ一時ノ借入ヲ申込ミマシタル如キ、是等ノ所爲ト云フモノハ、續タド致シマシテ、今日露西亞ガ斯ル計畫ヲ實行スルト云フ所ノ事柄ハ、事實ノ上ニ一ツナラズニツナラズ、數箇ノ事實ノ上ニ現レタト云フ事柄モ明テゴザイマス、斯ノ如ク種々ナル事實ガアリマスル以上ハ、當局者ハ旅順大連灣ノ借入ニ就キマシテ、是ハ俄ニ起シタル所ノ事實デアツテ、實ニ寢耳ニ水デアルト、斯ノ如キ事柄ヲ以テ、ヨモヤ、當局者ノ責任ヲ辭サントスルヤウナ事柄モ明テゴザイマス、斯ノ如ク種々ナル事實ガアリハナカラウト云フ事柄ヲ保證スルノテアル、テ、スク露西亞ノ外交上ノ動ト云フモノガ、現實ニ存在シマスル上カラニ、又旅順大連灣ノ借入ト云フコトヲ、清國ニ向シテ露西亞ガ爲シマスル下キニ於テ、如何ニ英國ハ之ニ對スル態度ヲ執ツタデアルカト云フコトヲ吾々ハ今日ヨリ考ヘテ見マスルト、英吉利ハ極力此獨逸ノ要地借入ニ反対ヲ致シテ露西亞ガ此ニ要地ノ借入レル、若シモ露西亞ガ此ニ要地ノ借入レルナラバ、少クトモ清國ノ獨立ト云フモノヲ無視シ、東洋ノ平和ト云フモノヲ破壊スルト云フ所ノ事柄ヲ以テ、斯ノ如キ所爲ニ向シテハ、飽クマデモ反対デアルト云フ所ノ意思ト云フモノハ、明瞭デアルノテ、斯ルモ露西亞ガ此ニ要地ノ借入レルナラバ、少クトモ清國ノ獨立ト云フモノヲ無視シ、東洋ノ平和ト云フモノヲ破壊スルト云フ所ノ事柄ヲ以テ、斯ノ如キ所爲ニ向シテハ、飽クマデモ反対デアルト云フ所ノ意思ヲ清國政府ニ向シテ一度ナラズ二度マデモ申込シダト云フ所ノ次第デアル又其當時英吉利ニ於ケル所ノ國會ノ決議ハ如何デゴザイマシタカ、國會ノ決議ト云フモノハ、大多數ヲ以テ清國ノ存立ヲ飽クマデ保證スルト云フコトニ努メナケレバナラズ、政府ヲシテ通商貿易ノ利益ト云フモノヲ英國ニ存セシムルト云フヤウナ事柄ヲ致サシメネバナラナイト、斯ノ如キ決議ト云フモノヲ致シタト云フ事柄ハ、明ナコトデアル、又在野ノ民論ニ就イテ考ヘテ見マシテモ、日英同盟ヲ公然ト主張シテ、憚ラナイ所ノ者モ、隨分アツタノデア

ル、又日英同盟ヲ公然ト主張シナクトモ、少クトモ獨佛露ノ二國ニ對シ、之ニ對スル對抗運動ヲ試ントスルナラバ、東洋ニ於テ一友國ヲ得テ、此友國ト共ニ相携ヘテ進マナケレバ、到底英國ノ利益英國ノ權利ト云フモノヲ將來ニ於テ保存スルコトガ出來ナイデアラウト云フ事柄ヲ、慥ニ云クタノデゴザイマス、斯ク議會ニ於キ、在野ニ於キ、政治家ノ思想ノ上ニ於テ、東洋ニ於ケル所ノ處置ニ向ッテ將ニ我日本ガ取ラネバナラヌ所ノ方針、稍同ナル所ノ方針ニ向ッテ居ル以上ハ、此間ニ於キマシテ、我政府ハ如何ナル態度ヲ取シタノデアルカ、既ニ露西亞ノ要地借入レト申シマスルモノガ、東洋ノ平和ヲ傷ケルト云フコトノ明ナル以上ハ、之ニ向ッテ一方ニ有力ナル所ノ英國ガ反對ノ意ヲ示スト云フ所ノ矢先ニ於テ、我政府ハ如何ニ之ヲ處置シタノデアルカ、又如何ナル事柄ヲ勵ノ上ニ現シタノデアルカト云フ事柄ヲ、私共當局者ニ向ッテ詳細ナル所ノ答辯ヲ求メントスルノデゴザイマス、又露西亞ガ曩ニ遼東ノ還付ニ於キマシテ、我帝國ガ支那大陸ノ土地ニ於キマシテ、足踏ヲ致ス以上ハ、東洋ノ平和ハ之ガタメニ攪亂セラル、ノデアル、夫故ニ、吾々ハ遼東半島ノ日本占有ハ飽クマデ抗議ヲシナケレバナラヌト云フ所ノ申込ヲ致シテ置キマシタ、其事柄ガ未だ數年ナラザルニ、自ラ其要地ニ向ッテ占領ノ事實ヲ現シ、名ハ借入ト申シマスル事柄デハゴザイマスルケレドモ、借入レタル所ノ土地ト云フモノハ、年限ノ間ハ露西亞ノ主權ノ下ニ立チ、露西亞ノ一ノ屬地ト爲シタルト云フ所ノ事柄デアリマスル以上ハ、日本ガ馬關條約ニ於テ、此要地ヲ占領シテ日本ノ國土ト致シマスルノモ、借入ニ依ツテ數年ノ間自國ト同一ナル所ノ扱フシマスル上ニ於テハ、少シモ差ノナイ以上ハ、果シテ露西亞ガ如何ニ此辯明ヲ致シマスルデゴザイマセウカ、又我當局者ハ斯ノ如キ一方ニ於テ三國干涉ノ口實ヲ設ケラレタル事柄ニ就イテ、是等ノ事柄ヲ考ヘテ見マスルナラバ、如何ニ當局者ハ此點ニ就イテ考ヲ起スカ、又其考ガ起リマスル以上ハ、之ニ就イテ如何ナル救濟ノ方法ヲ其場合ニ於テ取シタノデアルカト云フコトヲ、私共切ニ聞カントスルノデゴザイマス、デ、先ヅ第一ノ質問ノ點ハ、斯ノ如キデゴザイマスガ、是ヨリ第一ノ質問ノ點ハ、何デアルカト申シマスルト、英國ノ威海衛借入ニ就キマシテ、我政府ハ英國ト如何ナル照會又協商ヲ致シタコトガアルノデアルカ、斯ウ云フ題ノ質問デアル、デ、威海衛ハ經濟上ノ上カラ論ジテ見マスルト、或ハ有望ナ土地デナイト云フコトガアルカモ知レマセヌ、又經濟上生産ノ土地デナイト云フ事柄モ亦誰モ之ニ反對スル者ハナイノデアルカ、斯ウ云フ題ノ質問デアル、デ、威海衛ハ經濟上ノ上カラ論ジテ見マスルト、或ハ又有望ナ土地デナイト云フコトガアルカモ知レマセヌ、又經濟上生産ノ土地デナイト云フ事柄モ亦誰モ之ニ反對スル者ハナイノデアルカ、斯ウ云フ題ノ質問デアル、デ、威海衛ハ經濟上ノ上カラ論ジテ見マスルト、或ハ又有望ナ土地デナ

ネバナラヌト云フ事柄ヲ、私ガ信ジマスルガ故ニ、如何ニ政府ハ此點ニ就イテ考ヲ及シ、又如何ナル方法ヲ以テ將來外交上進デ往カントスルト云フ事柄ヲ聞カント欲スルノデゴザイマス、第四ニ質問ノ要點ハ、沙市事件ニ關シ沙市事件ハ此頃世ノ中ニ現レマシタル所ノ、沙市ニ於ケル所ノ清國亂民ノ暴動デゴザイマス、此點ニ就イテ政府ハ如何ナル處置ヲ致サントスルノデアルカ、沙市事件ト申シマスルモノハ、人民ノ無智文盲ヨリ致シマシテ、意外ナル邊カラ致シマシテ、我領事館或ハ郵便商品陳列場ナドヲ燒捨テ、或ハ領事館員ノ身體ニ危害ヲ加ヘントスルヤウナ事柄デゴザイマス、此ノ如キ事柄ハ當ノ處置、適當ノ處分ヲ求メルト云フ事柄ハ、我帝國ノ面目、我帝國ノ體面ヲ保チマスル上ニ於テハ、必要ナコトデアラウト考ヘマス、デ決シテ斯ク申シマスルトテ吾々ハ清國ガ實ニ微弱ニ陥リ不幸ナル地位ニ陥ルト云フ場合ヲ利用シテ、不法ナル所ノ要求ヲ以テ是ニ向ハントスル所ノ野心ヲ抱クノデゴザイマセヌ、ケレドモ宜シク政府トシテ取ルベキ處置、又將來我帝國ノ通商貿易ニ就イテ少クトモ安全ヲ保スル所ノ處置ト云フモノハ、飽クマデ取ラナケレバナラヌト信ジマス、夫故ニ政府ガ今日沙市事件ニ對スル所ノ處置ハ如何デアルト云フ事柄ヲ、第四ニ於キマシテ質問致シマシタル所ノ次第デゴザイマス、第五即チ最終ニ私ガ質問セントシマスルノハ、我帝國ト布哇國トノ交渉事件ハ、目下如何ナル進行中ニ在ルカト云フ事柄ヲ尋ねントスルノデゴザイマス、布哇問題ハ、昨年ニ於キマシテ、一時我社會ノ一大外交問題ト爲リマシテ、當時ノ外務大臣大隈伯ガ其衝ニ當ラレタト云フ事柄ハ、皆様ノ御承知ニナツテ居ル事柄デアル、又布哇國ニ對シマシテ當時ノ大隈外務大臣ガ取ラレマシタル所ノ外交手段ニ於キマシテ、彼ノ浪速艦ヲ無謀ニモ布哇ニ送ヅタコト、或ハ米國ニ向フテ米布合併問題ニ關シマシテ、無謀ナル所ノ抗議ヲ試シト致シマシタル如キ、私共其當時斯ル處置ニ就イテ甚ダ不満足デアツタト云フ事柄デゴザイマスガ、併シ時日ノ經過ト共ニ、世ノ中ノ人ハ殆ド此布哇問題ト云フモノヲ忘レ、又布哇問題ガ如何ニ今日ナリツ、アルカト云フ事柄ハ、吾々決シテ聞捨ニハナラナイト云フ事柄デゴザイマス、彼ノ布哇問題ガ兩國政府ノ間ニ於テ、少クトモ困難ヲ感ジシタル結果、第三ノ國ノ仲裁談判ヲ委ネ、第三國ノ判断ニ依ラテ此葛藤問題ヲ決セントスルト云フ事柄ガ、最後ニ於テ現レタヤウニ考ヘマシタガ、其仲裁談判ガ如何ニナツタデアルカ、如何ナル國ニ向シテ仲裁談判ヲ付セラレタト

(尾崎行雄君演壇ニ登ル)

○尾崎行雄君(七十番) 本員等ノ提出致シマシタル質問モ、唯今重岡君ノ述べラレタト略々相似タル外政ニ關スル事件デゴザイマスルガ、重複セヌ要點ダケヲ述べテ、質問ノ趣意ヲ明カニ致シマス、第一ハ、往年露西亞獨逸佛蘭西ノ此三國ノ勸告ニ應シテ遼東半島ヲ還付スル時分ニ、右ノ三國ト日本政府トノ間ニ何カ約束ハアリハセナカッタカ、其三國ヨリ他日遼東ノ地ヲ占領或ハ借受ケナイト云フヤウナ旨ノ約束ハナカッタカ、若シアルナラバ、其約束ヲ示シテ貴ヒタイ、又其約束ガナイト云フコトデアルナラバ、約束ヲサレナカッタ當時ノ事情及理由ハドウ云フ譯デアツタカ是ガ第一項デアリマス、三國ノ勸告ニ應シテ遼東半島ヲ還ヘスニ至ラ當時ノ事情ハ、唯今辯ズルマデモナク、諸君ノ皆御承知ノ通デアル、其時ノ形勢ヨリ察シマスルノニ、元ト東洋全局ノ平和ニ害ガアル、殊ニ支那ノ北京ヲ危ウスルノ憂ガアルガタメニ、折角占領シタ遼東ノ地モ支那ニ還ヘセト云フノガ三國ノ言葉デアリマスルノミナラズ、又同盟三國中ノ當時ノ意向等ヨリ察シマシテモ、此場合ニ於テ還ヘスト云フ以上ハ、私ハ今日ハ還ヘスコトノ當否ハ敢テ言ヒマセヌガ、還ヘスト云フ以上ハ還ヘスニ當ラテ、御注意通ニ還ヘス以上ハ、此地ヲ將來永ク中立地ト爲スト云フコトガ、或ハ中立地ト爲サズトモ、此勸告ヲ爲シタ所

ノ三國ニ於テハ、決シテ他日之ヲ占領或ハ借受ハ何等ノ名義ヲ以テシテモ、
之ヲ取ルト云フヤウナコトハセヌト云フ約束ヲ、我ヨリ求ムベキ皆デアル、
又彼モ亦必ズ承諾ハ與フベキ道理ト形勢デアツタノデアリマス、故ニ多分サ
ウ云フ約束ノアリサウナモノデアルト信ズル、故ニアルナラバソレヲ示シテ
貴ヒタイ、若シナイナラバ、斯ク事理ノ明白ニシテ通常外交上爲サナケレバ
ナラヌ所ノ手續ヲ履行セズシテ、遂ニ今日ノ禍ヲ招クニ至ッタ當時ノ事情及
理由ハ如何デアルカ、ソレヲ問ヒタイト云フノガ第一デアリマス、第二ニハ、
露西亞ハ唯旅順口大連灣等ヲ借入レタバカリデハナク、此他ニ鐵道鑛山軍
事等ニ關スル色ノ特約若クハ特權ヲ清國政府ヨリ得タヤウデアル、是ハ道
路ノ傳フル所ノ公ケノ祕密ニナツテ居リマスル故ニ、此様デアルト云フコト
ハ吾ミハ確ニ信ズル所、然ラバ其事柄ニ就イテ帝國政府ガ政府ノ職責トシテ、
今日マデ確メ得タル所ノ事實ハ如何ニアルカ果シテ道路ノ傳フルガ如キ色
ナ特約ヲ得タモノデアルカ、其特約ト云フ中ニハ旅順大連ノ二港ヲ二十五
箇年借受ケタト云フノミナラズ、鐵道——滿州ノ地ニ鐵道敷設ニ關シテ、幾
多ノ約束ヲ得テ居ルト云フコトモ、世間ニ傳シテ居ル、又其地方ノ鑛山等ニ就
イテモ、露西亞ガ特權ヲ得テ居ルト云フコトモ、世間ニ傳シテ居ル、甚シ
キニ至リマシテハ、滿州三省ノ軍隊改良ヲ露西亞ノ士官ヲシテ其任ニ當ラシ
ムルト云フ約束モ成立フテ居ルヤニ傳ヘテ居リマスル、凡テ是等ノコトニ就
イテハ我政府ガ確メ——今日マデ確メ得タル事實ヲ明瞭ニ述べテ貴ヒタイト
云フノガ、第二ノ要點ニアリマス、殊ニ旅順口大連灣ニ就イテハ、露西亞政
府ノ是マデ他ノ政府ニ照會通知シタ所ノ事柄ガ少シク明瞭ニナツテ居リマセ
ヌ、故ニ我ガ政府ニ對シテモ必ス色ニナ照會ガアツタデアラウト考ヘルガ故
ニ、ソレ等ノ點ヲ明ニ述べテ貴ヒタイ、第一其一斑ヲ舉グマスルト、日本政
府ニ對シテモ必ズ何等カノ照會往復ガアツタニ違ヒナイト思フノハ、現ニ英
吉利政府ガ公ケニシタ所ノ報告ニ據リマスルト、露西亞ハ一月ノ——本年
ノ一月ノ下旬ニ於テ、英吉利政府ニ照會シテ、旅順口モ大連灣モ共ニ世界ノ
貿易ニ開ク、決シテ之ヲ露西亞一箇ニ用ヒテ、軍港ニ供スル目的デハナイト
云フ意味ノコトヲ、英吉利政府ニ通牒シテ居リマスガ、果シテ何等ノ照會ヲ受ケテ向フノ政府ノ
英吉利公使ガ露西亞ノ外務大臣ニ遇シタキノ話ニ、是モ英吉利ノ手ヲ以テ公
ケニシテ居ル事實デアリマスルガ故ニ、今日我政府ニ對シテ通牒ガアルナラ
バ、之ヲ公ケニスルコトハ、無論差支ナイコトデアル、三月中旬ニ、英吉利
公使ガ露西亞ノ外務大臣ニ面會シタ時分ニ、旅順大連灣ヲ雙方共ニ通商港ト
爲スト云フコトガアル、本國政府ニ公然ト通知シテ宜シイカト云フコトヲ問
ヒ、殊ニ其文面——電報文面マテ書留メテ露西亞ノ外務大臣ニ示シテ宜シイ
カト云フコトヲ問フタ所ガ、露西亞ノ外務大臣ハ、其通牒シテ宜シイ當ニソ

レノミナラズ、將來如何ナル地ヲ得ルト雖モ、決シテ之ヲ世界ノ互市場ニ供
スルト云フコトヲ附加ヘテ差支ナイ、露西亞ガ私ヲスル覺悟ハ更ニナイト云
フコトヲ向フカラ申述ベタト云フコトデアル、其後三月下旬ニ至リマスル
ト、露西亞政府ノ通牒ニ、再ビ英吉利人ニ對シテ爲シタ所ノ通牒ニ、旅順ト
云フ文字ガ省イテアル、茲ニ於テ英吉利公使ハ、旅順ト云フ文字ヲ省イテ大
連灣ヲ殘シテアルノハ、殊更ニ省イタノデアルカ、但シハ書記等ノ書誤リデ
アルカト云フコトヲ念ヲ推シタ所ガ、決シテ殊更ニ省イタモノデハナイ、孰
ノ港モ世界ノ貿易ニ開クト云フ意味デアルト云フコトヲ、重ネテ明言シテ、其
後旅順ヲ港ニ開カヌト云フコトヲ通牒ヲシテ居ラヌヤウデアリマス、ソレト
同時ニ我政府ニ對シテ、殊ニ東洋ニ於テハ、最モ關係ノ深イ我政府ニ對シテ
ハ、必ズ露西亞カラ十分ナル照會ガアツタニ違ヒナイ、若シ彼ヨリ無ケレ
バ、我ヨリ必ズ求メナケレバナラヌ、相當ノ順序ニナツテ居リマスルガ故ニ、
此等ノ事實ニ就イテハ、必ズ當局者ニ於テ明ナル往復書類ガアルデアラウ
ト思ヒマスルガ故ニ、ソレヲ示サレタイ、ソレカラ第三ニハ、獨逸佛蘭西英
吉利等モ露西亞ノヤウニ幾多ノ特約若クハ特權ヲ支那政府ヨリ得テ居ルヤウ
デアル、又將來得ントスル計畫ガアルヤウデアルガ、ソレ等ノ事柄ニ就イテ
モ、帝國政府ガ今日マデ確メ得タル事柄ハ、ドウ云フコトデアルカ、ソレヲ問
フ積デアリマス、殊ニ佛蘭西等ガ清國政府ト約束ヲシタルコト、既ニ清國政
府ノ承諾ヲ得タトハ稱シテ居ル事柄ニ就イテ、世間ニモ追々流布シテ居ル、其
事柄ハ既ニ四五箇條ノ多キニ涉シテ居ルヤウデアリマスガ、此等ノ特權若ハ
特約ト稱スペキモノガ、果シテ佛ト支那帝國トノ間ニ成立フテ居ルヤ否ヤ、
此等ノ事ニ就イテハ帝國政府ハドウ云フコトヲ公使其他ノ手ニ依フテ確メ得
テ居ルヤ、又同ジ問題ノ中ニ威海衛ヲ英吉利ガ支那ヨリ借受ケルニ當シテハ、
是ハ日本政府ノ承諾ヲ得テ居ルト云フコトヲ、英吉利ノ内閣大臣ガ貴族院ニ
於テ公ケニ明言サレテ居リマスガ、果シテ何等ノ照會ヲ受ケテ向フノ政府ノ
云フテ居ル通、明ニ我ハ威海衛ヲ借受ケテ宜シイト云フコトノ承諾ヲ得テ居
ルカト云フ事實モ、併テ答辯アリタイ、第四ニハ、此頃歐羅巴列國ト清國ト
ノ關係ニ就イテ、帝國政府ハ東洋ノ全局ノ形勢ヲ維持センガタメニ、又我權
勢利益ヲ保護セシガタメニ如何ナル處置ヲ施シタルカト云フコトヲ問フノデ
キ權利ガアリ、又知テソレニ對シテ國是ヲ一定スペキ義務アリト信ズル所
ノモノデアリマスルガ故ニ、其照會往復ノ文書ハ、出來ルダケ明細ニ本院ニ
提出セラレタイト云フ、此四箇條ガ質問ノ要點デアリマス、即チ其中ニ籠フ
テ居ル所ノ事柄ハ、細カニ述べマスルト、恐ラクハ十數箇條ノ多キニ及ビマ

セウガ、詰リ此四箇條ノ要點ニ掲ゲタ所ノモノニ就イテ、政府ガ明確ナル答辯ヲ與ヘマスレバ、ソレニハ満足ヲスルノデアリマス、而シテ今回ハ臨時會ニアクテ、期日モ啻ニ切迫シテ居ルノミナラズ、此事柄ヤ答辯ヲ得タ後ニモ、亦更ニ確メナケレバナラヌコトモアリマセウガ故ニ、此答辯ガイツモノ如ク長引カズ、出來ルダケ速ニ本院ニ向クテ答辯セラレタイト云フノガ希望デアリマスルガ、其速ナルト云フノハ、願クハ一兩日間ニ其答辯ヲ得タイト云フノガ、此質問ヲ提出シ及賛成シタル大多數ノ希望デアリマスルガ故ニ、此事モ併テ陳述致シテ置キマス

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程第一生絲直輸出獎勵法廢止法律案ニ移リマス、朗讀ハ省キマス、政府委員藤田四郎君

第一 生絲直輸出獎勵法廢止法律案

第一 議會

(政府委員農商務次官藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 此生絲直輸出獎勵法廢止法律案ヲ提出致シマシタル理由ヲ申上ゲマス、抑、生絲直輸出獎勵法ハ昨年ノ議會ニ提出致サレマシタモノデゴザンシテ、昨年ノ四月末ニ發布セラレマシテ、本年四月一日ヨリ施行セラレマシタ所ノモノデゴザイマス、其法律ノ趣意タル、内國人民ノ外國ニ向クテ直輸出スル所ノモノヲ、一方ニ於テ獎勵シ、且ツ我蠶業ノ改良ヲ基トルト云フ、二ツノ要點カラ出來マシテ、良イ所ノ生絲ヲ内國人ガ輸出スル場合ニ於キマシテ、三種ノ三級ニ分タレテ居ル獎勵金ヲ交付スルコトニナリマス、元來昨年中此法律ヲ提出セラレマシタルハ、諸君ハ御承知デモゴザイマセウガ、帝國議會開設以來殆ド年々此生絲ノ獎勵ニ就キマシテノ問題ガ議會ニ上リマス、政府ニ於キマシテモ此生絲ノ貿易ト云フモノガ、我貿易輸出品ノ中デ最モ重大ナルモノデゴザンシテ、十分ニ保護獎勵ト云フコトヲスルト云フコトノ必要アルト云フコトヲ感ジマシタノデゴザイマス、且ツ此生絲生産家生絲貿易業者等ノ團體等ノ希望モゴザンシテ、遂ニ農商工高等會議ノ意見ヲモ聞キマシタ上デ、十分調査ヲ致シマシタ上デ、昨年提出セラレマシタノデゴザンス、然ルニ今日ニ至リマシテ見マスルト能ク分リマスガ、日本ノ戦争ノ——支那トノ戰爭以來日本ノ地位ガ大ニ高マリ、外國人ガ日本ヲ視ルコト、云フモノハ、餘程違クテ參リマシタノデ、ソレガタメニ一ツノ貿易上ニ關係スル法律ガ出ルト云フト、俄ニ各國ニモ電報ガ行キ、種々注目スルト云フ形勢ニナリマシタ、十分審査ハ致シマシタノデアリマスガ、今日此廢止案ヲ提出スルマデノ場合カラ見マスルト、エライ困ッタヤウナ場合ニナリマス、ト申シマスルノハ、第一ニ新條約ヲ實施スルヤウニナリマスレバ、外國

人モ同様ニ均霑セラレマスガ、ソレマデノ所ハ、年來横濱神戸等ニ於テ生絲業ニ從事スル者ハ、此恩典ニ與ルコトガ出來ナリ、遂ニハ佛蘭西ノ如ク生絲ノ產業國ヲ以テ名ノアル所デハ我段々進歩シマスル所ノ生絲ノ獎勵金ヲ得ルガタメニ他ノ市場ニ於テ競争スルト云フヤウナ場合ガ起リマシタトキニ、獎勵金ノタメニ大ニ損失ヲスルト云フヤウナコトモ起リマス、ソレデ佛蘭西ノ如キハ、日本ニ於テ斯ウ云フ法律ヲ立ツルト云フ場合デアレバ、佛蘭西ニ於テハサウ云フ保護金ヲ受ケルモノニハ、同等若ハ同等以上ノ課稅ヲスルト云フ法律ヲ立テハセヌカト云フ傾ガアル、又隨分ソレハ信ジ得ラルベキダケガ、殊ニ先月來本年四月カラ此獎勵金ヲ下付スルノ法律ガ施行セラレマスダメニ大ニ影響ヲ及スト云フヤウナ觀念ヲ起シマシテ、亞米利加ノ議會ニ向クテ日本ノ生絲ノ保護金ヲ得タ者ニハ、相當ノ課稅ヲシタイト云フ運動ヲスルト云フ有様ニナフテ參リマシタ、亞米利加ノ方ハ官報ニ或ル部分ハ出テ居リマスカラ、諸君モ御承知デアリマセウガ、亞米利加ノ法律ニ依リマシテ、亞米利加ノ海關稅デ課稅スル所ノモノハ、今ノ獎勵金ヲ受ケル者ニ對シテハ、相當ノソレダケノ又課稅ヲ特ニ斟酌シテヤルコトガ出來ルト云フコトガ海關稅法ニアリマス、所ガ生絲ハ亞米利加ニ於テハ無稅デアリマス、ソレガタメニ官報ニ出テ居リマスル通、課稅スルコトハ出來ナリ、併シナガラ亞米利加ノ生絲業者ハ、日本ニ於テ既ニ此法律ト云フモノヲ廢止スルト云フ政府ガ考デアルト云フヤウナコトヲナカく早ク承知シテ居リマスカラ、ソレガタメニ未ダ十分ノ効ヲシテ居リマセヌガ、此進行ニ依リマシテハ、亞米利加ノ議會モ開ケテ居リマスカラ、ドウ云フコトニナルカ知レマセス、又本年八月二十九日カラ佛蘭西ノ議會モ開ケルヤウニナリマス、ソレガタメニ此廢止法律ガ昨年十二月中ニ提出セラレマシタケレドモ、當時成立ニ至リマセヌデ、今日ニ至ッタコトハ外國政府デモ能ク存ジテ居リマスカラ、マダ甚シキニハ至リマセヌガ、若シ速ニ通リマセヌヤウニナリマスト、佛蘭西ナリ亞米利加ナリガ、ドウ云フヤウナ法律ヲ立ツルカ分リマセヌノデ、其場合ニ於テハ啻ニ手數ノ不便ナルノミナラズ、非常ニ我生絲貿易業者ノ不幸ニナリマシテ、却テ此法律ノタメニ損害ヲ被ルト云フヤフナ場合ニナラウカト懸念致シマスノデ、政府ハ特ニ緊急議案ト致シマシテ、本案ヲ提出シマシタ譯デアリマス(此時工藤行幹君、松島廉作君、小室重弘君等發言ヲ求ム)願クハ諸君ニ於カレマシテモ前顯ノ次第御諒察ノ上デ本院ヲ通過スルヤウニ希望ノ至ニ堪ヘマセヌ

○工藤行幹君(二百六十八番) 質問ガアリマス、登壇致シタウゴザイマス

○議長(片岡健吉君) 長イ質問デナケレバ其席カラ御述ベニナッテハ如何デ

ス

○工藤行幹君(二百六十八番) 少シ詳シク言ヒタイノデアリマズ

○議長(片岡健吉君) 然ラバ御登壇ナサイ

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(二百六十八番) 私ハ質問ヲ致シタイト思フノハ、此案ト云フモノハ、我日本ノ特有ナル所ノ物産ヲ保護シテ、我國ノ利益我日本人人民ノ利益ヲ保護スルタメニ、政府ハ色ニ御取調ノ末ニ議會ニ要求シテ、議會モ亦之ニ協賛ヲ與ヘタノデアル、然ル以上ハ、十分政府デ此趣意ヲ徹底シテ我物產ヲ保護スルト云フコトヲ十分努メナクチヤナラヌト云フコトハ當リ前デアル、是ハ申スマデモナイ、申スマデモナイガ、既ニ此歐羅巴亞米利加各國ニ於テモ、各々其國ト云フモノハ、自分ノ物産ヲ保護スルト云フコトハ、誠ニ皆節重ニシテ其事ヲ盡シテ居ル、故ニ人民ハ幸福安寧ヲ保シテ居ルコトデアリマス、今其一二ヲ舉ゲテ見レバ、或ハ此條約改正ニ於テハ、凡ソ獨立國ナルモノハ輸入稅ニ對シテ其國ハ適宜ニ稅率ヲ課スルノハ當然ノコトデアルニ拘ラズ、彼ノ英吉利ノ如キハ、日本デ國定稅率ノ定ラナイ前デアルカラ仕方ガナイガ、英吉利ノ國產ニ就イテハ、豫メ條約デ、アノ規定ナレバドレダケヨリ稅ヲ課スルコトガ出來ナイ、アノ品物ハ是ダケヨリ稅ヲ課スルコトガ出來ナイト云フコトハ、條約ニ規定シテアツテ、其國ノ物產ヲ保護シテ居ル、爾來我邦ニ於テハ既ニ國定稅率が定ラテアル、國定稅率ノ定ラテアルノニモ拘ラズ、尙ホ最近ノ佛蘭西ノ條約ヲ見ルト、佛蘭西ノ物產ニ、或ハ葡萄酒トカ、或ハ金銀ノ細工物ニ對シテハ、是シカ稅ヲ課スルコトガ出來ナイト云フコトガアル、然シテ其稅ハ幾ラカト云コトヲ尋ねテ見レバ、殆ド國定稅率ノ三分ノ一乃至半額ニ減シテ居ルモノガアルヤウニ私ハ心得マス、是ハ吾ミガ甚ダ我國ノ經濟上ニ於テ、海關稅ヲ自由ニ掛ケルコトガ出來ヌト云フコトハ、國權上ニ對シ又經濟上ニ對シテモ實ニ遺憾ナコトデアルト思フテ居ルノニモ拘ラズ、此事ハ既ニ條約モ御批准ニナッテ居ルカラ、何モ私ハ申スコトハ出来マセヌ、然ルニ我政府我當局者ハ、日本ノ生絲、重大ナル此物產ニ對シテ、他ノ國デハ我國デ保護スレバ他ノ國デ稅ヲ多ク課スルト云フガタメニ、自分が出シタ法律案ヲ消滅サセルニ至ルト云フハ、如何ニモ遺憾ナコトデアリマス、當局者ハ歐羅巴各國ノ當局者ト同ジ腕前デアルナレバ、此位ナコトハ豫メ各國ニ交渉シテ、是ハ日本ノ特有ナル物產デアル、特有ナル物產デアルカラシテ、我國デハ別段ニ斯ノ如ク保護シテ居ルノダ、ソレヲ保護ラシタダメニ特別ニ稅ヲ課スルト云フコトハ、眞ニ道理ニ當ラヌコトハナイカト云フコトハ又我國ノ事情ニ通ジナイモノデアルトカ、或ハ我國ノ利益ニ關係スルコ

(九)

トデアルト言フテ、十分談判シタナラバ、標題ノ間ニ於テ是等ノ事ヲ排斥スルコトハ、出來ルテアラウト思フ、出來ル證據ハ我日本ノ國定稅率ガ定ラテ居ルニモ拘ラズ、佛蘭西ノ條約デ海關稅ヲ規定シテ居ルデハナイカ、西洋各國ニ對シテ——向フニ對シテ、コチラノ國定稅率ヲ破ラテヤルコトハ甚ダ不都合ト思フ、我國ノ特有物產ニ對シテハ、一ツモ之ヲ爲スコトガ出來ズ、皆向ト云フヤリ方ハ、誠ニ我日本ノタメニ取ラナイト云フ考ラ私ハ持ラテ居ル、故ニ私ガ御尋スルノハ此事ニ就イテ我國ノ政府ガ佛蘭西ナリ亞米利加ナリニ十分交渉談判ヲシタノデアルヤ否、其談判ヲシタナラバ其談判ヲシタ手續ヲ承リタイ、ドウ談判シテモ、佛蘭西ノ外交官ニ對シテ談判ガ出來ヌ、或ハ亞米利加ノ外交官ニ對シテ談判ガ出來ヌト云フヤウナ、自ラ匙ヲ投ゲルト云フ譯ナラバ仕方ガナイガ、サウ云フ積デ談判ヲ附ケルコトガ出來ナイノカ、ソラヲ承リタイ、若シ談判シタナラバ、其手續ヲ承リタイ、要スルニ政府ハ十分ニ技倆ヲ振フテ、十分技倆ノアル外交官又ハ當局者其人デアツタナラバ、是シキノ平々凡々タル事——我國ノ物產ヲ保護スルコトガ出來ヌト云フコトハアルマイト思ヒマス、是ガ出來ヌト云フコトデアルト、追ミト我國ノ利益ニナリ、或ハ此權利上ニモ關係スルト思ヒマス、誠ニ此事ヲ廢スルハ區々ノコトデゴザイマスガ、國權又ハ國利人民ノ福利上ニ對シテ容易ナラヌト思ヒマスカラ、尙ホ十分當局者ノ説明ヲ承ラテ、然ル後贊否ヲ決スルノ積デアリマス

(此時發言ヲ求ムル者多シ)

○議長(片岡健吉君) 御質問ハ一人ゾツ許スヤウニ致シマス、藤田四郎君

(政府委員農商務次官藤田四郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(藤田四郎君) 唯今工藤君ノ御尋ノ事柄デゴザイマスガ、是ニ對シテ一言御答ヲ致シマス、同君ノ御說ニ依リマスレバ、國定稅率ハ各國デ立テルト、然ルニ各國デハ約定稅率ニ依ラテ尙ホ安クスルト云フコトデゴザイマスル、ガ是ハ御說ノ通りデゴザイマシテ、各國サウデ、日本モサウデアリマス、詰リ條約ニ依リマシテ、高クシテクレイト云フコトハナイコトデスカラ、自然必要ノコト、思ヒマス、生絲ノ場合ニ於キマシテハ、外國ニ於キマシテハ如何デアルカト申シマスレバ、外國デハ皆無稅デゴザイマス、多クス、當局者ハ歐羅巴各國ノ當局者ト同ジ腕前デアルナレバ、此位ナコトハ豫メアリマスガ、然ルニ各國政府ハ固ヨリ其國ノ主權ニ依ラテ稅率ヲ立テルコトガ出來ル、故ニ若シ先刻申スヤウナ風ニ我國ノ保護金ヲ得タ者ダケニ課稅スルト云フコトデアルト云フト、少シ可笑シイデハナイカト云フコトヲ、コチラデ談判シタナラバ、ソレナラバアナタノ國ノ絲ニ就イテコチラデハ是

ダケ課スルト云フコトガ云ロ得ラル、ノデアリマス、又凡テノ國ニ對シテモ課稅シ得ラル、ノデアリマス、今日此法律ガ困リマスルノハ、凡テ日本ノ絲ニ就イテノ獎勵金デナク、日本ノ絲ニ就イテ或ル格段ノ人ニヤルト云フコトアルカラ、今日發達シタル貿易ノ精神ニ於キマシテ、穩デナイト云フコトヲ云フハ、無理ナラヌコト、思ヒマス、殊ニ新條約ニ依リマシテハ、互ニ相均霑スル、即チ外國人ト雖モ日本ノ保護獎勵金ニ均霑シ得ラル、コトニナツテ居ル、其條約ハ數年ナラズシテ行レントスル矢先ニ、未ダ一年アルト云フコトデヤルト云フコトハ、如何カト云フ隨分外國人ノ間ニ議論ニナルコトデアリマス、サウ云フヤウナ次第デゴザイマシテ、當時ニ於キマシテハ、十分調査致シマシタガ、今日ハ甚ダ面白クナイ結果ヲ生ジマシタカラ、遺憾ナガラ提出サレマシタ、ドウカ緊急事件トセラレタモノデアリマスカラ、速ニ御贊同アランコトヲ希望致シマス

○肥塚龍君(四十一番) 私モ質問デゴザイマスガ、ソンナニ長イ質問デアリマセヌカラ、是カラ述ベテ宜カラウト考ヘマス、ソレハ私ノ質問ヲ致シマスルハ、殊ニ唯今ノ農商務大臣殊ニ唯今ノ農商務次官此二君ニ對シテ特別ノ御尋ヲ申サナケレバナラヌ事情ガアリマス、ソレハ僅ニ一年餘リ前デアッタ、此席ニ此案ヲ提出シタノハ誰モアタカト云フト、其時ハ榎本農商務大臣金子次官、サウシテ政府委員トナフテ是ガ辯明ヲシタハ、即チ唯今演壇ニ居ル所ノ藤田君デアッタコトハ、御記憶デゴザイマセウ、サヤウナ譯デ、三十年法律第四十八號ノ法律ガ生レテ來テ、僅カ一年經ツカ經タザルノ間ニ之ヲ殺害シナケレバナラヌト云フハ、誠ニ不思儀千萬ノ話ト思フ、此法律ハ誰ガ見マシテモ、生レタ其時ヨリ長キ生活ヲ保ツコトガ出來ナイト云フコトハ、能クモニ御先キノ見ヘヌ人ナラバ免モ角、然ラザレバ誰モ見ヘナケレバナラヌ、何ゼト云フニ、若シ是ヲバ外國人モ日本人モ均霑ノ一ノ恩典トナルモノデアッタナラバ、爲他人作嫁衣裳、日本人ノ懷カラ金ヲ出シテ條約ガ實施ニナレバ、外國人モ御出デナサイ、此資格ニ合ウタ絲ヲ製スル者ニハ、日本人ノ懷カラ出タ保護金ヲ上ダマセウト云フハ、他人ノタメニ嫁入ノ支度ヲスルト云フコトニナル、サウデナク、日本人ダケニヤル、日本人ノ懷カラ出タ金ハ、日本人ヨリ外ヤラナイト云フコトニナツタラ、外國ハ復讐ノ立法手段ヲ取ルニ極シテ居ル、ドチラカラ見テモ、此法律ガ逆モ一年三年ノ壽命ノナキ法律ト云フハ、明々瞭々ト分クテ居ルノニ、先見ノ明アル所ノ金子現出ノ農商務大臣及藤田次官ガ其事ノ先キガ見ヘヌト云フハ、ドウ云フ理由デゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツ私ハ要求致シマスガ、甚ダ藤田君ニハ失禮ノヤウデゴザイマスルガ、先刻カラノ説明ハ藤田君モ吾ミガ茲デ見テ居テナカク、御氣ノ毒ノヤウニ存ジマスカラ、成ルベクハ茲ハ向フ

ハ見ヘマセヌガ、金子大臣ガ御出席ニナツテ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、大臣ニ辯明ヲ煩ハシタイト考ヘマス

○議長(片岡健吉君) 農商務大臣金子堅太郎君

(農商務大臣金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(金子堅太郎君) 唯今私ニ此演壇ニ於テ説明スルヤウニト云フノ御質問デアリマスカラ御答ヲ致シマス、如何サマ私ガ昨年ノ春農商務次官在職中ニ此案ヲ讀場ニ出シテ、衆議院ノ協賛ヲ經テ公布セラレタコトデゴザイマス、然ルニ今ヤ僅カ一年經テ廢止法案ヲ出スノハ、ドウ云フコトデアルカト云フ御質問デゴザイマスルガ、曩ニ政府委員ヨリ答辯致シマシタル如ク、此案ハ決シテ輕々ニシタコトモナシ、第三議會以來明治二十五年ニ蠶業獎勵法案ガ出マシタ、又第四議會ニハ生絲直輸出獎勵法案ガ一十六年ニ出、第五議會ニハ又同一ノ法案、是ハ解散後デス、二十六年ニ又出マシタ、第六議會ニ矢張同案ガ二十七年ニ出マシタ、第八議會ニ二十八年ニ又同案ガ出マシテ、皆此席ニ御列席ノ御方ノ名前、又或ハ今ハ御列席ニナラヌ御方ノ名前モ出タノデゴザイマス、二十五年以來ノ是ハ提出案、ソレカラ又蠶業大會ノ實業家ノ意見トシテ、毎年東京又ハ各地ニ於テ、蠶絲業大會ヲ開イタトキニ、生絲ノ製造販賣ニ從事スル當業者ガ熱心希望シテ、政府ニ要求セラレタノデアル、一方ハ政府ニ要求シ、一方ハ議會ニ出マシタカラシテ、二十五年ヨリ院兩院ノ協賛ヲ經テ、是ガ法律ト爲シタノデゴザイマス、然ルニ圖ラザリキ、此案ガ一タビ公布セラル、ヤ、當地ヨリ通信ヲシ電報ヲ打ッテ、佛蘭西亞洲利加ニモ餘程ノ刺戟ヲ與ヘマシタ故ニ、生絲組合員貿易商人ハ、非常ナル決心ヲ以テ、既ニ亞米利加ノ議會ニハ、昨年以來法案ヲ提出スルト言フ傾ヲ見マシタ、又佛蘭西ニ於テモ、既ニ此二十九日ヨリ開ケル所ノ議會ニ出スト云フヤウナ傾ガアルノデゴザイマス、故ニ我國ニ於テ此獎勵金ヲヤレバ、其同額又ソレヨリ以上二倍三倍四倍ト云フヤウナ稅ヲ掛ケラレマスレバ、我國ノ人民ノ膏血ヲ以テ與ヘタ獎勵金ハ、彼國ノ國庫ヲ肥スノミニナリマシテ、又ソレノミナラズ、我國カラ賣込ム生絲ガ大變高イモノニナツテ、彼國ニ於テ競爭國タル伊太利支那ト競争ガ出來ナイカラ、誠ニ一箇月餘實施シテ、之ヲ廢止スルノハ忍ゼマセヌガ、此目的ヲ達スルコトノ出來ナイ時機ニ到リマンタ故ニ、我國ノ租稅ヲ以テ拂ッテソレガ彼國ノ國庫ヲ殖スト云フコトハ、實ニ經濟上見ルニ忍ビマセヌカラ、遺憾ナガラ此法案ノ廢止ヲ諸君ニ協賛ヲ、求ムルノデゴザイマスカラ、事情斯ノ如キ有様デゴザイマスカラ、宜シク御洞察ニナツテ御協賛アランコトヲ希望致シマス

○竹内正志君(三十五番) 餘リ奇怪デスカラ、私モ一言御尋シマスガ、前藤

田君ノ言ハレマスニハ、善カラウト思フ、保護獎勵ニナラウト思フテ、此法
律案ヲ出シテ見タ所ガ、大層差支ガ起ツタ——外國ニ差支ガ起ツタカラ、廢メ
ヤウト思フト、斯ウ云フノデアル、餘程譯ノ分ラヌ理由ト思ヒマスルガ、然
ラバ政府デハ——農商務省デハ此重要ナ輸出品ニ獎勵ヲ加ヘレバ、直グ外國
ノ市場ニ差響ガ起ル、外國ト直ク關係ガ起ルト云フコトハ、理ノ最モ観易
イモノデアル、ソレヲ一向考ヘズニ、唯ヤッテ見タラ宜カラウト思フテヤッ
テ見タ所ガ、惡ルカラタカラ、種々復讐サレルトカ、稅ヲ課スルト云フコト
ガアツテ困ルカラ、廢メルト云フノハ、實ニ無責任ナ話タラウト思ヒマス、
サウスルト農商務省デハ何モ考ヘズニ、唯漠然ヤッテ見タト云フコトデアリ
マセウカ、ソレカラ今金子大臣ノ答辯ハ甚ダ奇怪デアル、議會ガ惡ルイト云
フヤウナ答辯ノ仕方デアル、何年ニハドウデアル、何年ニハ斯ウ云フ風デア
タカラ、農商務省デハ案ヲ出シタノデアル、實ニ無責任ナ話デアル、吾ミガ
一向知ラヌノデアル、議會ガ要求シタ、何年ニハスウ云フコトガアツタ、何年
ニハスウ云フ歴史ガアルカラ拋リ出シタノデアル、斯ウ云フヤウナ答辯デ
アル、サウスルト、吾ミハ責任ガナイ、是ハ議會ノ責任デアルト云フコトニナ
ルガ、農商務大臣ハ——農商務省ハサウ云フヤウナコトヲシテ宜イモノデア
ルカ、議會ガ要求ヲシタカラ、議會ニ年々現レタ問題デアルカラ、農商務省
デハ之ヲ提出シタノデアル、吾ミハ善イカ惡ルイカドウ云フ響ヲ持ツカト云
フコトハ、一切知ラヌノデアルト云フ譯デアルガ、確然此二箇條ノ答辯ヲ願
ヒタイ

(農商務大臣金子堅太郎君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(金子堅太郎君) 唯今ノ御質問ニ御答致シマス、決シテ政府ニ
於テハ議會ニ責ヲ負ハスルト云フコトハゴザイマセヌ、政府ガ責ヲ負フノデ
ゴザイマス、唯此席ニ御列席ニナツテ居ル議員ガ御提出ニナツテ此案ガ出タ、
ソレハ即チ提出ノ權ガアル、議員ノ御出シニナツタ故ニ、ソレハ政府ハ慎重
鄭寧ニ審査シタ、併ナガラ尙ホ又一步進デ、當業者ハ如何、全國蠶絲業大會又
其參列ノ蠶絲業ノ實業家ヲ農商務省ニ召集シテ詢フタラバ、皆此案ガ吾ミ當
業者ガ希望スルコトデアル、ソレデ尙ホ如何ト思ヒマシテ、農商工高等會
議ニ昨年掛ケテ是モ可決シタ、當時ニ於テハ、外國ノ狀況ハ生絲ノコトニ就
イテハ十分忘ラズ調べマシタナレドモ、此日清戰爭ノ結果トシテ、我國ノ地位
ガ高クナルダケ、我國ノ貿易ハ非常ニ彼國ニ於テ注目ラスル、所謂形勢ガ
一變致シマシテ、今日ノ場合ニナリマシタ、故ニ國家ノ經濟上我國ノ人民ノ
租稅ヲ以テ拂フテ彼國ノ國庫ヲ肥スト云フコトハ、忍ビザルガ故ニ出シマシ
タノデ、決シテ衆議院ニ責ヲ負ハセルト云フヤウナコトハナイノデ、政府ハ
盡サレルダケノ道ヲ盡シテ出シマシタガ、如何セン局面一變シタカラ、此案

ヲ出シタノデアリマス

○小室重弘君(百八十八番) 私ハ此案ニ對シテ意見ヲ述べヤウト思フ、極ク
簡單デアリマスカラ、此席カラ述ベマス、私共ハ此案ニ對シテハ、實ハ「ソ
レ御覽ナサイ」ノ一言ヲ奉ラナケレバナラナイ、何故ナラバ、唯今モ藤田君
ナドガ御話デゴザイマシタガ、其時分藤田君ト本員トノ間ニ議論ヲヤッタヤウ
ニ記憶シテ居リマスガ、私ガ第十一議會ニ榎本大臣ノ御演説ニ對シテ、斯ノ
言ヲタノデス、若シ此案ヲ以テ出シタトキニハ、第一ニ外國ノ感情ヲ惡ルクス
ルト云フコトハ、我國ノ貿易ヲ妨ゲルコトニナリハセヌカ、第二ニ改正條約
ヲ行フト云フ結果ニ於テ、外國人ガ是ニ均霑シテ來ル場合ニハ、ドウナサル
ノデアルカ、又或ル手段ヲ行フト云フコトニナリマシタナラバ、非常ナ損害
ヲ被ラナケレバナラヌコトニナルダラウガ、ソレハ如何ニナルデアリマセウ
ト云フコトヲ尋ネマシタ、榎本大臣ソレニ答フル能ハズ、即チソレニ居ラ
ル、今ノ次官ナル藤田君ガ答ヘラレテ、本員ハ今記憶シテ居ル、其場合ニ
至ツテハ此法律案ハ廢スルコトニナルデゴザイマセウト云フ御答デアツタ、
即チ僅ニ一年ソコヽノ案ヲ茲ニ作ルト云フコトハ、餘程不思議ナコト、言フ
タデゴザイマスケレドモ、遂ニ是ガ通過スルト云フ場合ニナツタ譯デアリ
マスル、想フニ金子君ナドハ、今日ノ農商務大臣ハ此案ノ維持ニ就イテハ頗
ル努メラレタヤウニモ考ヘテ居ツタデゴザイマスガ、形勢ハ少シモ變シテ居
ラナイ、豈圖ランヤデハゴザイマセヌ、此通ノ結果ニナルコトハ、明ニ其當
時吾ミガ討論ヲシテ置イタ通ノ結果デ、政府自ラ廢止案ヲ出サナケレバナラ
ヌコトニナツタ、此間モ施行細則ヲ出サレマシタケレドモ、誠ニ其施行細則ノ
如キ天下ノ人何ト之ヲ申シタカト云ヘバ、政府ハ已ムヲ得ズ、斯ウ云フ法律ガ
アルカラ、無益ナ手續ヲシテ細則ヲ出サナケレバナラヌト云フハ、誠ニ氣ノ
毒デアル、蓋シ當局者モ亦斯ウ云フ無益ナ、今死ヌト云フモノ、施行細則
ヲ出サネバナラヌト云フコトハ、隨分御迷惑ナコト、考ヘルノデ、即チ政府
ノ當局者ガ此事ニ就イテハ誤ツテ居ツタ、又此案ニ就イテ贊成ヲシタ諸君モ
デゴザイマシテ、不利益ニナル譯デアリマスカラ、今日此場合ニ於キマシテ
ハ委員ニ付託スルト云フコトナシニ、即決ヲ致シマシテ直ニ此案ノ通過セラ
レシコトヲ望ミマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○鈴木總兵衛君(百七十四番) 小室君ニ同意デス

〔小室君ニ賛成ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 小室君ノ動議ハ、此案ハ讀會ヲ省略シテ直ニ確定シヤ

ウト云フ……

○小室重弘君(百八十八番) 左様

○議長(片岡健吉君) 讀會省略ハ三分ノ二ノ賛成ガナケレバ、出來マセヌ

〔賛成々々ト呼フ者アリ「三分ノ二アリマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 三分ノ二以上ノ同意者ガアルト認メマスカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ確定議ヲ開キマス

第一 生絲直輸出獎勵法案廢止法律案

(政府提出緊急事件)

確定議

○議長(片岡健吉君) 異議ガアリマセヌカラ本案ヲ確定ト致シマス、次ニ議事日程ノ第一法例修正案ニ移リマスガ、原案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第二 法例修正案(政府提出)

第一讀會

〔司法大臣曾禰荒助君演壇ニ登ル〕

○司法大臣(曾禰荒助君) 諸君、今回民法修正案ヲ始トシ、政府ガ諸法律案ヲ此短期ノ議會ニ提出致シマシタノハ、即チ其理由ハ諸君ニ御熟知ノコト、既察シマスデ、私ガ茲ニ喋々致シマセヌ、此法典編纂ノコトデゴザイマス、既ニ二十有餘年間政府ガ著手致シマシテ、其草案ノ成リマシタコトモ既ニ數回デゴザイマシタ、殊ニ明治二十六年四月以來御存ジノ通ニ法典調査會ナルモノヲ組マレマシテ、専ラ之ニ關係ノ法律家實際家、又學者、適當ナル人ヒヲ集メマシテ、古今内外ノ諸法典諸慣例ヲ參照シテ審議シタモノデゴザイマス、

御注意申シマスルガ、殊ニ今回提出ノ民法ノ殘部ト云フモノハ、専ラ本邦ノ法律所謂慣習並ニ舊法典現在法ハ勿論、所謂古代法ナルモノ、五十有餘モ參照シ、又明治六年以來ノ伺指令並ニ大審院其他控訴院等ノ慣例實例等ヲ參照シマシテ拵ヘタモノデゴザイマス、テ、諸君ニ申上ダマスガ、今日ノ現況ト云フモノハ、前ニモヨツト申シマシタ通、是等ノ諸法案ガ一日モ速ニ成ルコトノ必要ニ迫ラレテ居リマス、實ニ國家ノ進運ニ伴フ所ノモノデゴザイマス、ドウカ速ニ審議了アランコトヲ希望致シマス、又附ケテ申シマスルガ、此短期ノ故ニ貴衆兩院へ實ハ法案ハ分ダテ提出致シタ、其重モナルコトヲ申シマスレバ、重ニ民法ノ方ニ關係シタモノヲ衆議院ノ方ニ先キニ出シマスル、商法ノ方ニ關係シタ所ノモノヲ貴族院ノ方ヘ提出サレマシタ、諸法律ノ各條項等ニ於テ説明ヲ要スルコトガゴザイマスレバ、是ハ各其法律ニ就イテ別段ニ政府委員ヲ命ジテアルコトデゴザイマスカラ、其方カラ説明ヲ致スデゴザイマセウ

○波多野傳三郎君(百一十五番) チヨヲ質問致シマス、要項ニ瓦リマシテ

ハ、今曾禰大臣ノ言ヘレタガ如ク、蓋シ梅君以下ノ御講釋ガアルコト、思ヒマスガ、先ヅ其御講釋御説明ハ姑ク措キマシテ、今日ノ日程ニ載リ居リマスルダケデモ、法例、民法、民法施行法並ニ戸籍法ノ此四ツヲ數ヘマスト云フト、

七百九十八條ノ多キニ瓦ル、此ノ如ク多キモノヲ二十一日ト云フ短期ニ議サネバナラヌト云フハ、今曾禰大臣ハ事情ガ追シテ居ルト簡単ニ仰セラレタコトデ、其事情ノ追シテ居ルト云フコトハ、幾分察セルデハゴザイマスルガ、併シナガラ民法ノ物タル、親族編ト云ヒ、相續編ト云ヒ、定リ方如何ニ依ラテ、我社會全體ノ上ニ頗ル影響ノアルモノデアル、之ニ依クテ親子兄弟夫婦ノ關係モ如何ニナルカト云フ種類ノモノデアル、然ルニ之ヲ僅カ二十一日間而モ今曾禰大臣ノ言ハル、所ニ依レバ、貴族院ニ商法及之ニ附帶シタル法案ガ出テ居ルト云フト、之ヲ貴族院カラ回ルヲ俟テ議サネバナラヌ、是デ我四千万ヲ代表スル吾ミガ議シ得ルト、曾禰大臣ハ考ヘラル、デアラウカ、又唯法律ノ箇條ヲ素讀ヲスルト云フコトデモナカク、容易ナラヌコトデアル、況ヤ是ガ果シテ我社會ノ現狀ニ適スルヤ否ト云フコトヲ、此間ニ審議討論シ得ルト云フ御考デアルヤ否、若シ此短日月ニ審議討論シ得ルデアラウトスレバ極ク昔流ノ、民ハ由ラシムベント云フコトヲスレバ、宜シイト云フ御考デアルカ、

之ヲ民ハ由ラシムベシト云フコトダケヲサセネバナラヌト云フコトニ何カ理由ノアルコトデアルカ、唯此法典ノ實施期限ガ議會開ケテカラ六月三十日マデノ延期トナシテ居ル、其期限ガ追シテ居ルト云フコトデアラウカ、或ハサハナクシテ開院式ノ御詔ニモアッタルガ如ク、改正條約ノ關係が重ナル原因デアルト云フコトデアラウカ、此點ヲ明ニスルト云フコトハ、梅君以下ノ御講釋ニ待ツヨリハ、副總裁タル曾禰君ノ御説明ヲ受ケタ方ガ相當デアラウト思ヒマスルカラ、之ヲ曾禰大臣ニ承クテ置キタイト思ヒマス

〔司法大臣曾禰荒助君演壇ニ登ル〕

○司法大臣(曾禰荒助君) 今波多野君カラノ御問デゴザイマスガ、是ハモウ實ハ御自身ガ十分ニ知クテ御居デナサラウト思ヒマスカラ、敢テ私ガ喋々スルコトモナイカモ知レマセヌケレドモ、御問ダヤカラ、仕方ナシニ御答致シマス、第一ガ御存ジノ通、各國ト條約シタノガ大ナル條件、之ヲ致シマセヌバ年來即チ維新前カラノ國民ノ熱望シテ已マザル所ノ條約改正ガ出來ナインテ実施ニナラナイ、是ガ先づ一番大キナノデス、故ニ今日實ハソレヲ申サナクモ分ダテ居ルト思ヒマシタカラ、前ニ省キマシタ、又モウ一ハ、此短期ノ議會ニ、斯様ナ浩瀚ナモノヲ出シテ困ラスチャナイカ、斯ウ云フヤウニ聞キバ年來即チ維新前カラノ國民ノ熱望シテ已マザル所ノ條約改正ガ出來ナインテ思フテ居ルノガ、實ハ其切迫シテ今日殆ド困クテ來タ位ニ切迫シテ來タデス、諸君ニ於テモ大抵此大問題ノコトデゴザイマスルカラ、最早御熟知ニナクテ居リ、御見當ハ附イテ居ルト私ハ考ヘテ居リマス、是カラ先キ申上ダ所

ガ、各々御考ノアルコトデゴザイマセウ、又民法上ノコトニ就キマシテチヨット申上ゲマシタ通ニ、ナカツ澤山ノ法律ヲ參照シテ、古代法カラヤツチ居ルノデス、其古代法ト申シマスルノハ、殆ド五十三カ四カゴザイマズ、ソソナモノヲ参考シテヤツタモノデスカラ、大抵漏ラサズ慣習ハ取タテ居ル考デゴザイマス、兔ニ角今日ノ所デ、今ノ條目ノ七百トカ八百トカ仰セラレマレタガ、ソソナモノデハゴザイマセヌ、其倍程ゴザイマス、皆ソナ入レルト――實ニ御エラウハゴザイマセウケレドモ、奈何セン今日ノ有様デゴザイマスカラ、ドウカ御勉強ナサッテ、速ニヤツテ下サルコトヲ切望シテ已ミマセヌ、是ヲ以テ御答へ致シマス

○江原素六君（百五十四番） 唯今ヨリ豫算委員會ヲ開キタウゴザリマスカ
ラ、該委員ハ暫時退席ヲ承諾ヲ請ヒマス

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ豫算委員ノ退席ヲ許シマス

○政員委員（穂積陳重君） 諸君、私ハ唯今ノ議ニ付サレマシタ法例修正案ノ

修正ニ就キマシテ、其修正ノ方針ノ大體ト修正ノ結果ノ要領ダケヲ茲ニ説明致シマスル、尙ホ各條ニ亘リマシテハ、諸君ニ御配布ニナシテ居リマス所ノ參

致シマスル、尙ホ各條ニ瓦リマシテハ、諸君ニ衡醜布ニカニテ居リマス所ノ參考書モゴザイマスルシ、又尙ホ明ナラヌ所ハ、御質問ヲ俟チマシテ説明ヲ致サウト存ジマス、仰々此去令修正案ハ、曩ニ昨年ノ議會ニ提出ニ相成リマ

致サウト存ジマス、抑々此法令修正案ハ、曩ニ昨年ノ議會ニ提出ニ相成リマシタガ、不幸ニシテ議會解散ト相成リマシテ遂ニ未ダ法律ト爲ナラズ致シテ

アツタノデゴザイマス、故ニ今回昨年提出ニ相成リマシタ案ヲ尙ホ審査致シ
マシタ上ニ、新ニ提出ニ相成リマシタコトデゴザイマス、此法例案ハ法律ノ

適用ノ通則デハアリマスガ、此案中ニ載セテアリマスル所ノ規定ノ大多數
ハ、内外交渉ノ法律行爲ニ關シテ居リマスルコトデ、或ハ日本人ト外國人ト取

ハ、内々交渉（法施行篇ニ開ミテ居リ）、又ハ、日本ノ外國人ニ取引ヲ致シマスコトニ關シ、或ハ外國人ガ日本ニ於テ相互ノ取引ヲ致シマスルコトニ關シ、又ハ日本人ガ外國ニ於テスルコト、又ハ外國人ガ日本ニ於テス

トニ關シ、又ハ日本人が外國ニ於テスルコト、又ハ外國人が日本ニ於テスルコト等、悉ク内外關係ノ法律行爲ニ關シテ居リマスルコトデゴザイマスカラシテ、條約改正等ノアリマスルニ就キマシテハ、此法津ガ根本ト爲リマシ

ラシテ、條約改正等ノアリマスルニ就キマシテハ、此法律ガ根本ト爲リマシテ、内外ノ法律關係ヲ判斷致スコトニ相成ルノデアリマスカラシテ、特

ニ此法律ノ修正ヲ加ヘマスルニ就キマシテハ法典調査會ニ於キマシテハ、慎重ニ調査致シマシタコトデゴザイマス、斯ノ如ク本案ハ内外ノ取引ニ關スル

モノデアリマスルカラシテ、之ヲ修正致シマスルニ就キマシテハ、務メテ諸國ノ法律ノ間ノ抵觸ト云フコトヲ避ケルト云フコトヲ一ノ方針ト致シマシ

國ノ法律ノ間ノ抵觸無シ、且テ通商外貿ノ方針一致シテ、或ハ我國ニ於テ右トナシテ居リマスルコトガ、我國民ガ取引ヲ致シテ居リマスル國ニ左トナシテ居リマスル如キ場合デアリマスト、貿易上其他人民ノ私

マスル國ニ左トナシテ居リマスル如キ場合ニアリマスト、貿易上其他人民ノ私
交際上非常ナ不都合ヲ生ズルコトニアリマスカラ、獨リ我國ニ於キマシテノ
ミナラゲ^{諸國ニ於テ}此法例中ニ序ノマヌレ規定ニ就一テハ、或レバア萬

ミナラズ諸國ニ於テ此法例中ニ存シマスル規定ニ就イテハ、成ルベク萬國同一ノ主義ヲ取り、同一ノ方針ニ法律ヲ制定致シテ往カナケレバナラヌト

云フコトニ相成シテ居リマスル、故ニ近來ハ屢々列國會議ヲ催シ、或ハ諸國ガ條約ニ依リマシテ、此法律ヲ一轍ニ歸セシムルコトヲ務メ、又或ハ彼ノ有力ナル國際法協會ナルモノガアリマシテ、諸國ノ學者或ハ外交家等ガ會合致シマシテ、成ルベク一轍ニ其法律ノ規定ヲ定ムルト云フコトヲ務メテ居ルノデアリマスル、故ニ本法ヲ修正致シマスルニ當リマシテモ、汎ク諸國ノ法律ヲ參照致シマシタ、現ニ行レテ居リマスル諸國ノ法律ニシテ參照致シマシテモノガ、殆ド五十バカリアリマスルノデス、又斯ノ如キ有様デアリマスルカラ、近頃ニ於キマシテハ、諸國法例ノ修正等ノ舉ハアルノデス、因テ或ハ官選或ハ私選ノ法例草案ガ隨分澤山アリマス、ソレ等モ及ブベキダケ集ノマシテ法例草案モ十二バカリハ参考致シマシタ、其他前ニ申シマシタ列國會議ノ決議、條約、國際法協會ノ決議等ノ如キモノハ、悉ク參照致シマシテ、成ルベク一般ニ行レ又汎ク各國ニ於テ是認セラレテ居リマスル所ノ主義ヲ採ッテ、此修正ノ基礎ト致シマシタ、併シナガラ万國ヲ通シ普通ニ行レテ居リマスル主義ヲ採用致シマスルガタメニ、苟モ我國ノ特別ナル利益ヲ害シマスルコト、或ハ我國權ニ影響ヲ及シマスルガ如キ事柄ニ就キマシテハ、此通則ニ就イテ少シモ遲疑スル所ナク、之ニ例外ヲ加ヘマシテ、此點モ亦諸國ノ等シク採リマスル立法ノ主義デアッテ、成ルベク諸國ト同シデナケレバナラヌガ、自國ノ利益ト相反スルコトニ就イテハ、通則ヲ離レルト云フコトハ又是ハ已ムヲ得ヌコトデゴザイマシテモ、本案ニ就キマシテモ、此主義ヲ十分ニ採ッテ居ル積デアリマス、次ニ修正ノ結果ニ就キマシテハ固ヨリ各條ヲ御覽ニ相成リハ、孰トモ決シテ居ラナイ廉ガ少クアリマセヌ、因テ之ヲ實際ニ行ヒマスルニ就イテハ、ドウシテモ、本案ニ舉ゲマシタケノ規定ト云フモノハ必要デアル、既成法例ノ如クデアリマシテハ行レマセヌ所ガ澤山アリマスルノデ、夫ニ致シマシテ、實際ニ行ヒマスニ就イテハ、屢々起リマスル所ノ重要ノ問題ハ、孰トモ決シテ居ラナイ廉ガ少クアリマセヌ、因テ之ヲ實際ニ行ヒマスルニ就イテハ、ドウシテモ、本案ニ舉ゲマシタケノ規定ト云フモノハ必要デアル、非常ナ、諸國ノ立法ニモ非常ナ進歩ガアリマシタノデゴザイマス、ソレデ前ノ法律ノ出來マシタ後ニ、或ハ法律ニ、或ハ列國條約ニ、或ハ國際法協會ノ決議ニ依テ疑點ノ定マリマシタ處モ多クアリマスルノデ、是等モ加ヘマシタト云フコトモ一々ノ條項ノ増加ノ所以デアリマス、又此諸國ノ貿易ルノデアリマス、是等ノ點ヨリ致シマシテ、元ト十七箇條ノガ、本案ノガ三交通等ガ著シク近頃進ミマシタニ就キマシテ、元ハナクテモ濟シテ居リマシテヤウナ箇條ガ必要トナシテ參ッタ、從ツテ條項ヲ増シマシタヤウナコトモアルノデアリマス、是等ノ點ヨリ致シマシテ、元ト十七箇條ノガ、本案ノガ三十箇條ニ相成リマシタ、各國ノ立法モ此法例ニ關シマスル箇條ハ、孰ノ國ニ於キマンシテモ、近頃ノ——十年以來非常ニ増加致シテ參ル傾ハ、是ハ一般ノ貿易交通等ノ進歩ニ伴シテ然ラザルヲ得ナイコトデアラウト思ヒマスル、

尙水各條ニ就イテハ、此参考書ヲ御覽ヲ願ヒタイノデゴザイマス、又此参考書ニ就イテハ、チヨット一言附加ヘテ置クコトハ必要ト存ジマスル、此法例

此議會ニ提出ニナリマシテ、諸君ノ協賛ヲ經テ法律トナッテ發布セラレテ居

配付ニナシテ居ルモノガアリマス、是ハ素ヨリ題號ニモアリマスル如ク、諸君
ガ此短イ期間ニ於テ浩瀚ナル法案ヲ御審査ニナリマスルニ就イテ、諸君ノ御
更定ニシテ、是去也國立會ニ公ニ、諸君力説ノ筆已故ノアヌモノヲ申別シテ、

便宜ノタノニ沿此調査會ニ於テ
配付致シマシタモノデアッテ、是ガ此法案ノ理由書ト稱スベキモノデアッテ、
是ニ依ツテ其規定ノ本文ノ解釋適用マデモ將來ニ禦束スルヤウナコトガ
アツテハ、誠ニ不本意ナコトデアリマス、此各法律ノ條項ト其本文自身ニ依ツテ
其意義モ分リ、其適用範囲ノ如キモ分ルベキモノデアリマシテ、此參考書ハ

○議長(片岡健吉君) 格別質問モナイヤウニゴザイマスカラ、議事日程ノ第
オノノ修正ノ趣意ノ大體一般ヲ知ルノ御便宜ノタメニ諸君ニ御配付ニカシテ
居ルノデゴザイマス、此事ハ此處デ公言致シテ置クコトガ將來ノタメニ必要
ト思ヒマスカラ、一言附加ヘテ置キマス

三特別委員ノ選舉ニ移リマス

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○谷澤龍藏君(百番) チヨウト質問ヲ致シテ置キタイ
○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第三ニ移リマシタ

○谷澤龍藏君(百番) 大臣ナリ若クハ……

○謙長(片岡健吉君) モウ第三ニ移リマシタ
○谷澤龍藏君(百番) サウデスカ、ソレデハ……

○政府委員(梅謙次郎君) 議長

○議長(片岡健吉君) 梅謙次郎君
〔政府委員法制局長官法學博士梅謙次郎君演

○政府委員(梅謙次郎君) 議事日程ノ第三ニアリマスル所ノ民法中修正案ノ

提出 = 關シマシテ……
「違ヒマス、違ヒマス」ト呼フ者アリ

○政府委員(梅謙次郎君) ソレデハ……

○講長（片岡健吉君）委員ハ講長指名ニ御異論ナ万里マ
〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) ソレデハ人數ハ如何致シマセウカ
〔二十九名〕、平ノ首ヲ「賛成」ト、聲起レ

○議長(片岡健吉君)二十七名ニ御異議ガナケレバ其通極メマシテ、議長ガ指名ヲ致シマス、次ニ議事日程ノ第四民法中修正案ニ移リマス。

第四 民法中修正案(政府提出)

第一讀會

○政府委員(梅謙次郎君) 民法中修正案ノ提出ニ關シマシテ簡単ニ一言申上
〔政府委員法制局長官法學博士梅謙次郎君演壇ニ登ル〕

○谷澤龍藏君(百番) チヨウト政府委員ニ御尋シタイ、此事ハ大體ノ事デ一
ツ、ソレカラ此親族編ノコトニ就イテ一ツ、ニツヲ聞キタイト思ヒマス、先
刻司法大臣カラシマシテ、親族編其他ノモノモ條約ニ關係ガアルヤウナ御話
ニアリマシタ万本員ハ全體法典ハ一日モ早ク編成シタイト云フ方ノ考ニアリ
ル、併ナガラ親族編ナリ此人事編ハ社會ニ重大ナル關係ヲ持ツモノニアリ
マスカラ、急ガヌコトニアレバ、成ルタケ鄭重ニヤリタイト思フノデスガ、
然ルニ此事ハ各員ノ御存シノ筈チヤト云フコトデ、御説明ニナリマセナン
ダガ、矢張此親族編其他人事編モ是非條約上ニ一影響ヲ及シテ來ルト云フ御
考ニアリマスカ、此等ノコトヲ御説明ヲ請ヒタイ、ソレカラ第二ニハ、唯今
司法大臣ナリ梅政府委員カラ、段々此親族編ナリ其他人事編ハ、裁判例ナリ
其他ニ依シテ古代ノ事マデ取調ベタノデアル、成ルベク早ク完結ヲシタイト
云フコトニアリマス、然ルニチヨウト此中デ本員ナドハ大體ノ事ニ就イテ少
シク伺シテ置キタイト恩フ、成ル程十分御取調ニハナツテ居リマセウガ、此

親族編中ニ例ヘバ斯ウ云フヤウナ場合ガアル、尙ホ本員ナドハ不完全デハナ
イカト思フノハ、從來女戸主ガ入夫シタ、入夫シタ場合ニ直チニ戸主トス
ル、是ハ家族制度デ斯ウナツテ居ル、所ガ今日デハ成ルタケソレヲ自由ニス
ルト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此第七百三十六條ニ依
レバ、此女戸主ガ入夫シタナラバ、直チニ入夫ヲ戸主ニスルト云フ場合ニ、
反対ノ意思ノアツタキニハ、此限ニアラズトゴザイマス、丁度此場合ノ中
程デ入夫シタ時ニ、反対ノ意思モ分ラナイ、又反対ノ意思モ分ラナクシテ入
夫ヲシタ場合ガアル、サウ云フヤウナ場合ハ、ドウ云フヤウナ御考デアルカ、
又其次ニ往テ、隠居——戸主ノ隠居アル、是ハ或ハ六十歳ニナレバ——
六十歳ニナラナケレバイカヌ、尙ホ其他ニ於テ已ムヲ得ナイ外ハ、本家ノ相續トカ、
項ガアッテ、救フコトガ出來ルヤウデアリマスガ、併シナガラ日本ノ此隠居
ト云フモノハ、本家ノ相續トカ、其他已ムヲ得ナイ外ニ自由ニシテ隠居ヲス
ルト云フヤウナ慣例ガアル、然ルニ此已ムヲ得ナイ外ハ、本家ノ相續トカ、其
他ノ已ムヲ得ナイ外ハ、六十歳ニ至ラナケレバ、隠居ガ出來ナイト云フヤウナ
コトニナツタナラバ、大變妙ナコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、其間ニ已
ムヲ得ナイ場合ニアラズシテ自由ニヤルト云フ場合ハ、ドンナ御考デアルカ、
又此家督相續ヲ致シタ此家督相續者ハ、前戸主ノ權利義務ヲ繼承スルト云フ
コトガ書イテアリマスガ、所デ一身ニ屬スル分ハ此限ニアラズト云フコトヲ、極ク狹隘ニ解釋シタ
ガ、此一身ニ屬スル分ハ此限ニアラズト云フコトヲ、極ク狹隘ニ解釋シタ
ナラバ、大變差支ガアッテ、廣ク解釋ヲシタナラバ宜シイガ、若シ狹隘ニ解
釋ヲシタトキニ、彼ノ放蕩ナル所ノ子息ナドヲ一旦戸主トスル、其間ニ於テ
直チニ其負債ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナ書方ニナツテ居ルヤウデア
ル、是等ノコトハドウ云フヤウナ御考デアルカ、今ノ三ツノ點ヲ豫メ伺ッテ
置キタイ、是ハ些細ノコトデアリマスガ、大體ノ方針ダケヲ伺ッテ置キタイ
○小室重弘君(百八十八番) チヨット注意ヲシテ貰ヒタイ、今ノ如キ質問ヤ
或ハ説明ノ如キヲ此短期ノ間ニスルト云フヤウナコトハ、政府委員ニ於テモ
御注意アリタイト思フ、委員ニ付託ニナレバ、質問モ出來レバ説明モ出來ル、
夫ヲシテ下サラナケレバ困ルト思ヒマス

○政府委員(梅謙次郎君) 今ノ谷澤君ノ御問ニ御答ヘ致シマスガ、此條約ヲ
實施スルニ就イテ、親族編相續編ノ實施が必要デアルカト云フノガ第一ノ御
問デアリマスガ、是ハ政府デモ取調べタコトガアリマス、成程親族編相續編
ノ規定ノ多數ハ、外國人ニ必要ノ無イ規定デアリマス、サリナガラ中ニハ外
國人ニ關スル規定モ全く無イノデハナイ、而シテ條約ニ附屬シテアリマス
ル所ノ議定書ニハ、如何ニ書イテアルカト申シマスルト、發布シテ實施ニナツ
テ居ラナイ所ノ法典ノ全部ヲ施行シテカラデナケレバ、條約ヲ實施スルト云
フコトノ申込が出來ナイト云フコトニナツテ居リマス、ソレデアリマスカラ
全部ト云フ文字ガアル限ハ、一部分即チ五編ヲ以テ成ツテ居ル民法ノ三編ダ
ケヲ施行致シマシテモ、外國政府ニ於テソレデハマダ新條約ヲ實施スベキト
キガ來ナイト言ハレテモ仕方ハナイト思ヒマス、夫故ニ矢張是ハ條約ノ實施
ニ必要デアリマス、ソレカラ簡條ニ瓦ツタ御質問ハ極テ簡單ニ御答ヲ致シマ
スガ、第一ニ女戸主ニ就イテノコトデアリマス、是ハ但書デ本人同志反対ノ
意思ヲ表示シタルトキハ此限ニアラズトアリマスル以上ハ、明ニ反対ノ意思
ヲ表ハシマセヌ以上ハ、即チ本則ニ依ツテ入夫ガ戸主ト爲ルノデ、是ハ今日
ノ此現行法ニ於キマシテモ大體ノ規則ハ斯フナツテ居ルト心得マス、ソレカ
ラ第二ニ此隠居ノコトデアリマスガ、是ハ成程今日ハ餘程自由ニナツテ居ル
ヤウデアリマス、尤モ年齢ニ就イテ五十年ト云フ制限ガ舊イ布告ニアリマシ
テ、此布告ガ活キテ居ルカ死シテ居ルカト云フコトガ、一ノ法律家ノ間ノ問
題トナルベキコト、思ヒマスガ、免ニ角、今日ハ極テ自由デアルト言ツテモ
宜カラウト思ヒマスガ、是ハ或ハ弊害ノアルコトデ、現ニ法典調査會デハ、
隠居ノ制度ヲ廢スペシト云フ議論モ出マシタ位デアリマスデアリマスカラ、
是ハ制限致シマシテ、餘り輒ク出來ヌヤウニシタガ宜カラウ、元來隠居ノ制
ハ、武家杯ニ於キマシテ、武家ガ武家タルノ職務ヲ盡スニ就イテ、年ヲ取
テハ盡サレヌカラ、據ナク隠居ヲシテ息子ヲ當主ニスルト云フ所カラ、近來
ノ隠居ノ制ハ重モニ行レテ居リマスガ、最早今日トナツテハ、隠居ヲ自由自
在ニ許ス必要ハナカラウト思ヒマス、ソレカラ第三ノ御問即チ簡條ニ這入
テ第三ノ御問デアリマシタガ、チヨット御趣意ガ分リマセヌカツカラ、失禮
デスガモウ一遍

〔「委員會々々々ト呼フ者アリ」〕

○議長(片岡健吉君) 質問モアリマセヌヤウデアリマスカラ、議事日程ノ第
五特別委員ノ選舉ニ移リマス

〔「賛成々々々ト呼フ者アリ」〕

○議長(片岡健吉君) 百四番カラ此案モ前ノ委員ニ付託スルト云フ說ガ出
マシタ、異議ハアリマセヌカ

○加藤六藏君(百四番) 私ハ前ノ委員ニ併テ付託スルト云フ動議ヲ提出致シ
マス

〔「賛成々々々ト呼フ者アリ」〕

○議長(片岡健吉君) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 御異議ゴザイマセヌカラ、前ノ委員付託ニ決シマス、次
へ議事日程ノ第六民法施行法案ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

○政府委員(梅謙次郎君) 極テ簡単デアリマス、此民法施行法ハ其名ノ指示
〔「簡單々々々ト呼フ者アリ」〕

○政府委員(梅謙次郎君) 政府委員法制局長官法學博士梅謙次郎君演壇ニ登ル
第一讀會

シマスガ如ク、民法ヲ施行スルニ必要ナ法律デアリマス、ドウカ是モ御賛成アランコトヲ希望致シマス
○議長(片岡健吉君) 質問モゴザイマセネバ議事日程ノ第七特別委員ノ選舉ニ移リマス

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
〔前委員ニ付託ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 本案モ前ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ナイト認メマス、政府委員高木豊三君

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 次ニ議事日程第八戸籍法案ニ移リマス、朗讀ヲ省略シマス、政府委員高木豊三君

第八 戸籍法案(政府提出)

〔政府委員司法省民刑局長高木豊三君演壇ニ登ル〕

○政府委員(高木豊三君) 戸籍法案ニ就キマシテ提出ノ理由ヲ述べマスガ、唯今ドナタカノ御注意モゴザイマシタデ、詳シイコトハ委員會ニ譲リマシテ、唯一箇條ダケ諸君ニ御注意ヲ願ヒタイコトガゴザイマス、ソレハドウ云フコトカト申シマスルト、第一ニ、此戸籍法案ト云フモノハ、誠ニ煩雜ノ如ク事務ヲ執ル上ニ於テモ、或ハ困難ヲ生ズルガ如クニ見ヘマスガ、實ハ之ヲ起草スルニ當リマシテ、是マデノ習慣是マデノ慣例ヲ專ラ採リマシテ實際ニ此後行ヒマス所竝ニ之ヲ行フ理由及其費用等ハ、先づ從前ノ通デ、少シモ變リマセヌデゴザイマス、テ、其邊ノ御含ラ願ヒタイ、第二ニハ、此法案ニ就キマシテ最モ御注意ヲ願ヒタイ點デアリマズガ、ワレハ是マデ戸籍事務ト云フモフハ、内務省ノ所管デアリマシタ、所ガ此度此法案ニ於テ司法省ノ所管ニ移シマスノデアリマス、此點ハ大ニ重大ノ事柄ト考ヘマスルデ、諸君ニ一應申述ベテ置キマス、ドウ云フ理由テ此法案ニ於テ司法省ノ所管ニ移シマシタカト申シマスト云フト、第一、戸籍ト云フモノハ、外國デ申セバ身分登記ガ主ニナシテ居リマス、ソコテ一面カラ見マスルト云フト、戸籍法ノ事務ガ或ハ全國ノ戸數デアルトカ、或ハ全國ノ人口ヲ調査スル目的デアルト云フ點ヨリ観察ヲ致シマスト云フト、純然タル統計上ノコトニ屬シマシテ、即チ行政所管ニ屬スルガ相當ト考ヘマスデゴザイマス、然ル所ガ又一面ヨリ考ヘマスルト、凡ソ人ノ出生、婚姻其他凡テノ人事關係ヲ規定致シマスモノニアリマスカラ、廣々申シマスルト云フト、人事上及財產上ノ權利ノ基礎ヲ定メマス身分ヲ確定スル行為ニナルノデアリマス、此點ヨリ見マスルト、又純然タル司法ノ事務ニ屬スルガ相當デアラウト云フ此理由ニ基キマスルノデ、殊ニ我邦ニ於テ其必要ヲ感シマスノハ、御承知ノ如ク、萬國ニ例ノゴザイマセヌ戸主權、茲ニ先刻モ御話ノ出マシタ隠居ノコトデゴザイマス、是ハ我邦ノ特例デ

第一讀會

○波多野傳三郎君(百二十五番) 極ク簡單ニ御尋シテ置キタイ、二百十七條ト思ヒマスガ、手數料ノ金額ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ
○政府委員(高木豊三君) 二百何條デスカ
○波多野傳三郎君(百二十五番) 二百十七條デアリマス、此手數料ノ金額ハ、マダ其金額ニ就イテハ確タル見込モアリマセヌノデアリマスルガ、此點ニ就キマシテハ不動産登記法其他ニモ手數料ヲ定ムル必要ガゴザイマスノデ、其比例モ取ルコトニシ、且ツハ成ルベク人事上ノ關係デアリマスカラ、輕イ所ノ手數料ヲ定ムル考テゴザイマス、是ダケヲ……

○議長(片岡健吉君) 質問ガゴザイマセネバ、議事日程ノ第九特別委員ノ選舉ニ移リマス
○加藤六藏君(百四番) 本戸籍法モ前諸法ト關係シテ居リマスカラ、前ノ委員ニ併テ付託シタイト考ヘマス
○小室重弘君(百八十八番) 是ハ別ニ舉ゲナケレバナラヌ、十八名ニシテ議長指名
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(片岡健吉君) 小室君カラ十八名ノ委員ヲ議長指名テ置キタイト云フ動議ガ出マシタ、之ニ御異議ゴザイマセヌカ
○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、次ニ議事日程ノ第十一大圓銀貨幣引換ニ關スル法律案ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、政府委員松尾臣善君

第十 一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

一圓銀貨幣ノ引換ハ明治三十一年七月三十日限リトス

〔政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル〕

- 政府委員(松尾臣善君) 一圓銀交換期限ヲ定メマスル法律案ニ就キマシテ
一言申シ上ダタウゴザイマス、此一圓銀交換ノ期限ハ通用禁止ノ翌日ヨリ五
箇年間ニ引換ヘマスルコトニ定シテ居リマスルノデゴザイマスルガ、昨年十
月勅令三百三十八號ヲ以テ一圓銀ノ通用期限ヲ本年ノ四月一日限ト定メラレ
マシタノデ、爾來一圓銀ノ引換ヲ致シマシタ所ガ、存外速ニ引換ガ運ビマシ
テ、モウ今日ハ僅ニ國內ニ流通シテ居リマスル景況デゴザイマスルカラ、最
早今日ハ五箇年間引換ヘマスル必要ハナイト認メマシテ、此引換期限ヲ本年
七月三十一日限ト定メラレルコトニナリタイト云フコトデ、此案ヲ提出致シ
マシタ譯デゴザイマス、極ク簡単ナ案デゴザイマスカラ、速ニ御賛成アランコ
トヲ希望致シマス
- 議長(片岡健吉君) 質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第十一特別委員ノ選
舉ニ移リマス
- 〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 質問ガアリマセネバ、議事日程ノ第十一特別委員ノ選
舉ニ移リマス
- 第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 石田眞二君(五十三番) 委員ハ九名ト致シテ、議長ノ指名
- 〔「賛成々々」ト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 御異議ガゴザイマセネバ委員ヲ九名ト致シマシテ、議
長ガ指名致スコトニ致シマス
- 〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 次ニ議事日程ノ第十二政府發行紙幣通用廢止ニ關スル
法律案第一讀會ニ移リマス——議案ノ朗讀ヲ省略致シマス、松尾臣善君
- 第十二 政府發行紙幣通用廢止ニ關スル法律案 第一讀會
- 〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕
- 政府發行ノ紙幣ハ明治三十二年十二月三十一日限り其ノ通用ヲ廢止ス
(政府委員大藏省理財局長松尾臣善君演壇ニ登ル)
- 政府委員(松尾臣善君) 政府紙幣通用禁止ノ期限ヲ定メマスル法律案ニ就
キマシテ理由ヲ申上ダマス、モウ此政府發行ノ紙幣モ十九年以後追々交換ヲ
致シマシテ、今日ハ僅ナ通用額ニナシテ居リマスル、且ツ其紙幣モ發行後數
年ヲ經チマスルコトデ、損傷等モ多クシテ、人民ノ受授ニモ餘程不便ナ模様
デゴザイマス、又之ヲ通用ヲ禁止致シマシテモ、一向流通上金融上ニ差支ヲ
起ス如キコトハナイト認メマシテゴザイマスルカラ、此通用期限ヲ三十二年
十二月三十一日限通用ヲ止メルト云フコトニ致シタイト云フ考デ、此法律案
ヲ提出致シマシテゴザイマス、速ニ御議了アランコトヲ希望致シマス
- 議長(片岡健吉君) 御質問ガアリマセネバ議事日程ノ第十三特別委員ノ選
舉ニ移リマス

- 第十四 明治二十九年度豫備金支出ノ件(政府提出承諾ヲ求ムル件)
(政府委員大藏省主計局長阪谷芳郎君演壇ニ登ル)
- 政府委員(阪谷芳郎君) 唯今日程ニ上リマシタ豫備金支出ノ件ハ、是ハ前
ニ説明ヲ申上ダマセヌデゴザイマスガ、例年ノ通豫備金支出ニナリマシタ所
ノ承諾ヲ求メマス次第テゴザイマスカラ、尙ほ併テ申シテ置キマスルガ、此日程
ノ二十マデハ是ハ同ジ事後承諾ノ件デゴザイマスカラ、此場合ニ於キマシテ
御断リ申シテ置キマスル
- 議長(片岡健吉君) 質問ガアリマセネバ議事日程ノ第十五特別委員ノ選
舉ニ移リマス
- 〔「二十迄」ト呼フ者アリ〕
- 石田眞二君(五十三番) 委員ハ同ジタ九名ト致シテ議長ノ指名ニ……
〔「賛成々々」ト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 石田君ノ委員ハ九名ト致シテ議長ノ指名ト云フニ異議
ガアリマセネバ、其通致シマス
- 〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
- 議長(片岡健吉君) 議事日程ノ第十六ヨリ二十一マデハ同ジ性質ノモノデ
ゴザイマスルカラ異議ガナケレバ一時ニ議ニ付シマスル、原案ノ朗讀ハ省略
ヲ致シマスル
- 〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼ヒ「委員モ同様」ト呼フ者アリ〕
- 第十六 明治二十九年度ニ於テ國庫剩餘金ヲ以テ豫算外支出ノ件
(政府提出承諾ヲ求ムル件)
- 第十七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第十八 明治二十九年度特別會計豫備金支出ノ件(政府提出承諾ヲ
求ムル件)
- 第十九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第二十 明治二十九年度特別會計歲入及資金ヲ以テ豫算超過支出ノ
件(政府提出承諾ヲ求ムル件)
- 第二十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

〔前ノ委員ニ付託スルコトヲ希望致シマス」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 前ノ委員ニ付託致シマシテ御異議ハアリマスマイカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ前ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス

ス、次ハ議事日程ノ第二十二北海道官設鐵道會計ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ移リマス、原案ノ朗讀ヲ省略致シマス、阪谷芳郎君

○議長(片岡健吉君) 前ノ委員ニ付託スルコトニ致シマス

北海道官設鐵道會計ニ關スル法律案

第一讀會

(政府提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメニ茲ニ掲載ス〕

明治二十三年法律第二十號官設鐵道會計法ハ北海道官設鐵道ニ適用セス

〔政府委員大藏省主計局長阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今日程ニ上リマシタ法律案ハ、北海道ノ官設鐵道デゴザイマスガ、追々線路ガ落成致シテ參リマシテ、本年度カラ開業ニナリマスデス、然ル所ガ何分マダ不毛ノ地デゴザイマシテ、開業ノ當初ヨリ十分ナ收益ヲ見込ムコトガ出來マセヌニ依リマシテ、作業會計法ト云フモノヲ實施スル場合ニ至リマセヌ、夫故ニ此作業會計法カラ取除ケルト云フコトノ必要ヲ認メマシテ提出致シマシタ次第デゴザイマス、此段……

○議長(片岡健吉君) 質問ガアリマセネバ議事日程ノ第二十三特別委員ノ選舉ニ移リマス

第二十六 香川縣下郡配置法律案(政府提出)

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ヨリ指名スルコトニ御異議ハアリマスマイカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 異議ガアリマセネバ其通決シマス次ニ議事日程ノ第十四臺灣銀行法中改正法律案ノ第一讀會ニ移リマス、原案ノ朗讀ヲ省キマス

此ノ法律ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

第二十四 臺灣銀行法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治三十年法律第三十八號臺灣銀行法中左ノ通改正ス

第二十三條 主務大臣ハ必要ナリト認ムルトキハ臺灣銀行ノ無記名式一覽

拂ノ手形發行高、貸付金額及貸付方法ヲ制限スルコトヲ得

○議長(片岡健吉君) 政府委員ノ説明ガアリマセヌカラ、議事日程ノ第二十五特別委員ノ選舉ニ移リマス

第二十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

〔「委員九名議長ノ指名」ト呼ヒ又「賛成々々」前ノ委員ニ付託スル〕の

一々ソレハ別ダ違ウミト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名致スコトニ御異議ハアリマスマイカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ二十六カラ三十一マデト呼フアリ

〔二十六カラ三十一マデ〕

○議長(片岡健吉君) 議事日程ノ二十六カラ第三十一マデハ同ジ性質ノモノデゴザリマスカラ、併テ議事ニ付シマス原案ノ朗讀ヲ省キマス

第二十七 香川縣下郡配置法律案(政府提出)

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

廣島縣備後國深津郡及安那郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ深安郡ヲ置ク

廣島縣備後國三次郡及三谿郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三次郡ヲ置ク

廣島縣備後國奴可郡、三上郡及惠蘇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ比婆郡ヲ置ク

廣島縣安藝國沼田郡及高宮郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ沼高郡ヲ置ク

附則

此ノ法律ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

第二十八 廣島縣下郡配置法律案(政府提出)

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

廣島縣備後國蘆田郡及品治郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ蘆品郡ヲ置ク

廣島縣備後國三次郡及三谿郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ三次郡ヲ置ク

廣島縣備後國奴可郡、三上郡及惠蘇郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ比婆郡ヲ置ク

廣島縣安藝國沼田郡及高宮郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ沼高郡ヲ置ク

附則

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

第三十 岡山縣郡配置法律案(政府提出)

第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

岡山縣美作國眞島郡及大庭郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ眞庭郡ヲ置ク

岡山縣美作國西西條郡、西北條郡、東南條郡及東北條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以

テ苦田郡ヲ置ク

岡山縣美作國勝北郡及勝南郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ勝田郡ヲ置ク

岡山縣美作國英田郡及吉野郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ英田郡ヲ置ク

岡山縣美作國久米北條郡及久米南條郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ久米郡ヲ置ク

岡山縣備前國御野郡及津高郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ御津郡ヲ置ク
岡山縣備前國赤阪郡及磐梨郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ赤阪郡ヲ置ク
岡山縣備前國邑久郡及上道郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ邑上郡ヲ置ク
岡山縣備中國小田郡及後月郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ月田郡ヲ置ク
岡山縣備中國下道郡及賀陽郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ賀下郡ヲ置ク
岡山縣備中國上房郡及川上郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ上川郡ヲ置ク
岡山縣備中國哲多郡及阿賀郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ阿哲郡ヲ置ク

附 則
此ノ法律ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

第三十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) 原案ノ朗讀ヲ省キマス、——松岡康毅君
(政府委員内務次官松岡康毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(松岡康毅君) 是ハ郡制ヲ施行スルタメノ郡分合デゴザイマス
ガモウ年々議場ニモ出マシテ、能ク諸君ニ御馴染ノ方ガゴザイマス、郡制ガ
三十八、既ニ實施ニ成テ居リマス、ソレカラモウ二縣ハ、近日布クコトニ
成シテ居リマス、ソレカラ一ツト申スノモ、最早施行期日モ内輪ハ極シテ居リ
マス、唯此三ツノ分合が殘フテ居マスルタメニ、同一ノ郡制ガ届カナイト云フ
譯デゴザイマスカラ、ドウゾ此度ハ凡テ協賛ヲ得テ通過スルヤウニ致シタイ
(「九名ノ委員ニ付託スヘシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 此委員モ九名ノ委員ヲ議長ヨリ指名スルコトニ御異議
ハアリマスマイカ

〔「のーく」「各九名ツ、」「ト呼フ者アリ〕

○議長(片岡健吉君) 各九名ツ、ニ致シマシテ、御異議ナケレバ

〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕

○議長(片岡健吉君) ソレデハ左様致シマス、次ニ議事日程第三十二傳染病
院等ノ敷地地租免除ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省
キマス

第三十二 傳染病院等ノ敷地地租免除ニ關スル法 第一讀會

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

明治三十年法律第三十六號傳染病豫防法ニ依ル常設ノ傳染病院隔離病舍隔
離所及消毒所ノ敷地ニシテ設立者ノ所有ニ係ルモノハ工事着手ノ月ヨリ供
用廢止ノ月迄月割ヲ以テ其ノ地租ヲ免ス

〔佐松隆慶君「説明ガ無ケレバ委員付託」ト呼フ〕
○議長(片岡健吉君) 説明ガアリマセヌカラ、第三十三特別委員ノ選舉ニ移
リマス

第三十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(佐松隆慶君「九名ノ委員議長ノ指名」ト呼フ)
(「贊成」ト呼フ者多シ)

○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名致スコトニ異議ハアリマセヌ
カ
(「異議ナシ」と呼フ者多シ)

○議長(片岡健吉君) 異議ガ無ケレバ議長ガ指名スルコトニ致シマス、議事
日程ノ第三十四水害地方地租特別處分法案ノ第一讀會ニ移リマス、議案朗讀
ヲ省キマス

第三十四 水害地方地租特別處分法案(淺香克孝君) 第一讀會 外三十六名提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

第一條 本法ハ明治三十年七月ヨリ十月迄ノ洪水ニ因リテ生シタル損害地
ニ適用ス

第二條 荒地ニ至ラサルモ收穫皆無トナリタル土地ニ限リ明治三十年分地
租ヲ免除ス

第三條 前條ニ該當スル土地ノ地租延納年賦金ハ明治三十年分ニ限リ之ヲ
免除ス

第四條 本法ニ依リ損害取調中ハ其ノ地租ノ徵收ヲ猶豫ス

第五條 本法施行前ニ徵收シタル既納ノ地租金ハ之ヲ還附ス

第六條 本法ノ施行ニ關シテハ訴願又ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

第七條 本法ニ依リ處分ヲ受ケントスル者ハ明治三十一年七月三十一日迄
ニ申出ヘシ若シ此ノ期限内ニ申出テサルモノハ本法ノ處分ヲ受クルコト
ヲ得ス

〔委員付託」ト呼フ者アリ〕

第八條 此ノ法律ニ依リテ特免シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ
控除セス

〔委員付託」ト呼フ者アリ〕

○大竹貫一君(二百三十三番) 日程ノ三十四デゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 左様デゴザイマス

○大竹貫一君(二百三十三番) 是ハ今日ハ大分諸君ガ御疲勞ト見受ケマス
デ、次ノ會議へ御延シヲ願ヒマス

〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕

○議長(片岡健吉君) 次ノ會議へ延スコトニ御異議ガ無ケレバ

〔「異議ナシ」と呼フ者多シ〕

○議長(片岡健吉君) ソレデハ議事ヲ延ベルコトニ致シマス、明後日ノ議事
日程ヲ報告致シマス

〔寺田書記官朗讀〕

議事日程 第三號 明治三十一年五月二十三日(月曜日)	午後一時開議
第一 特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會
第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第三 明治二十九年法律第五十九號事業公債條例中改正法律案(政府提出)	第一讀會
第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第五 明治二十九年法律第六號償金特別會計法中改正法律案(政府提出)	第一讀會
第六 償金特別會計資金一時繰替支辨ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會
第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第九 人事訴訟手續法案(政府提出)	第一讀會
第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第十一 非訴事件手續法案(政府提出)	第一讀會
第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第十三 水害地方地租特別處分法案(淺香克孝君外三十六名提出)	第一讀會
第十四 登錄稅法中改正法律案(齋藤良輔君外十名提出)	第一讀會
第十五 日本體育會國庫補助建議案(小室重弘君外十一名提出)	第一讀會
第十六 市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案(肥塚龍君外六名提出)	第一讀會
第十七 市制中追加法律案(肥塚龍君外六名提出) ○議長(片岡健吉君) 是ニテ散會ヲ致シマス	第一讀會
午後三時五十六分散會	